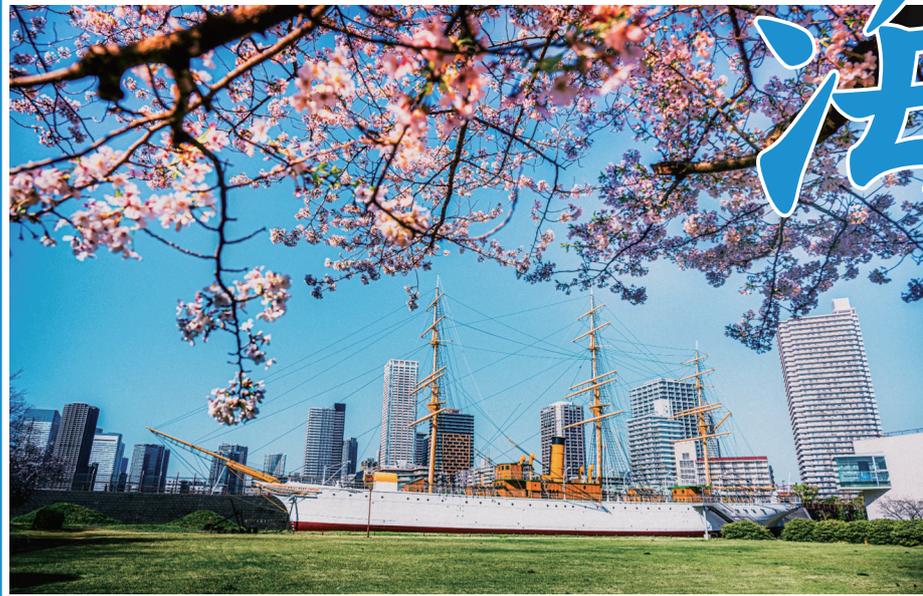


vol.43 mar. 2025



拓海

「海」を切り拓く匠の業と心

CONTENTS

2024年度 旅立ち 卒業特集	
卒業生・修了生のみなさんへ	3
卒業生・修了生から在学生へ	7
卒業、修了する先輩留学生から在学生へ	12
退職の年を迎えて	14
大学院紹介	18
国際交流プログラム	20
業界で活躍しているOB・OGの方々	22
海鷹祭の紹介	25
新任教員の紹介	26
学生の課外活動報告	27
ニュース&トピックス	29
学生相談室からのお知らせ	33
お知らせ	35

◆2024年度 旅立ち

■卒業特集

◎卒業生、修了生のみなさんへ

「発想の転換」	井関 俊夫……③
卒業生・修了生の皆さんへ	後藤 直宏……④
卒業生・修了生のみなさんへ	元田 慎一……⑤
未来を切り拓く力を信じて	宮本 佳則……⑤
AI時代をどう生きるか	兵藤 哲朗……⑥

◎卒業生、修了生から在學生へ

在學生の皆様へ	池長 柔羽……⑦
在學生の皆さんへ	谷口 りか……⑦
「新たな出会いと挑戦」	浦山 咲貴……⑧
可能性は一歩先に	藤田 健翔……⑨
大学生活を送る皆様へ	伊藤 輝……⑨
「一期一会」	谷水 聖奈……⑩
博士課程への進学を選択肢から外して しまった人へ	田野入 開……⑩

◎卒業、修了する先輩留学生から在學生へ

卒業する先輩留学生から在學生へ	閻 林 い……⑫
在學生の皆様へ	黎 鈺 珊……⑬

■退職の年を迎えて

定年を迎えるまで	濱崎 活幸……⑭
退職の年を迎えて	高木 直之……⑭
日々の流れの畔に立ちて思うこと	中川 雄二……⑮
マイダイアリーを紐解いて	兵藤 哲朗……⑮
さあ、次いってみよう!	遠藤 英明……⑯
振り返り、感謝	谷 和夫……⑯
定年を迎えて	林 敏史……⑰

■大学院紹介

海洋生命資源科学専攻	秋山 清二……⑱
応用環境システム学専攻	清水 悦郎……⑲

■国際交流プログラム

OQEAPOUS Plus Program (IJP) に参加して	遠藤 美侑……⑳
ハノイでの38日間	久保田慧樹……㉑
タイで得た宝物	斉藤 美玖……㉒
海外インターンシップに参加して	大山 留美……㉒

■業界で活躍しているOB・OGの方々

自然の恵みを未来につなぐために	上田 卓哉……㉔
水産技官として参加する環境交渉の世界	小野田希史……㉕
海洋大での日々を武器に研究の世界に挑む	川村 亘……㉖

■海鷹祭の紹介

第65回海鷹祭を終えて	下迫 楓芽……㉗
-------------	----------

■新任教員の紹介

海の研究戦略マネジメント機構	近藤久美子……㉘
水圏生物生産工学研究所	川戸 智……㉘

■学生の課外活動報告

バドミントン部	橋本 凜……㉙
木曜会	飯泉 慧大……㉙
漕艇部	新見 萌恵……㉚

■ニュース&トピックス

- ・2024年度海洋工学部父母等懇談会 ……………㉛
- ・2024年度海洋生命科学部・海洋資源環境学部
父母等懇談会 ……………㉜
- ・「海の日」記念行事を開催しました ……………㉝
- ・令和6年度9月期学生表彰授与式を行いました
……………㉞
- ・令和6年度9月期学位記・修了証書授与式を
挙行了しました ……………㉟
- ・令和6年度10月期入学式（大学院）を
挙行了しました ……………㊱
- ・「水辺活動の安全な実施及び水難事故防止の
ための学習会」の開催について ……………㊲
- ・自転車安全教室（スケアード・ストレイト）の
実施について ……………㊳

■学生相談室からのお知らせ

- ・学生相談室について ……………㊴
- ・学生相談体制について ……………㊵

■お知らせ

- ・キャリア支援センターの取り組みについて
……………㊶
- ・国立科学博物館および
国立美術館の利用について……………㊷
- ・緊東京海洋大学 公式X（旧Twitter）を
開設しました ……………㊸
- ・緊急時連絡システムについて ……………㊹
- ・ネットワーク障害防止のための注意事項 ……………㊺
- ・悪質な就活商法に関する注意喚起 ……………㊻
- ・東京海洋大学校友会のご案内 ……………㊼
- ・掲示板 ……………㊽

表紙写真（時代を越えて）

去年の春、私が海洋大に入学した時期に撮影した写真です。明治丸にとっては150回目の春だったでしょうか。
越中島写真部

2024年度 旅立ち

卒業特集

卒業生、 修了生のみなさんへ

「発想の転換」

学 長
井 関 俊 夫

卒業、修了を迎えた皆さん、おめでとうございます。4月からは心機一転、新しい環境で思う存分、東京海洋大学で身に付けた力を発揮して欲しいと思います。どんなに困難な道でも、前進する努力を続けていれば、いつか必ずゴールに辿り着くことができます。

この原稿を書き始める少し前に、民間小型ロケット「カイロス2号機」の打ち上げが行われました。残念ながら、発射3分後に安全システムが作動して自律的に破壊されました。およそ100万個といわれる部品のすべてが正しく設計・製造され、それぞれが正確なタイミングで正しく作動しないとロケットの打ち上げは成功しないと言われていました。これまでは多くの人々の汗と努力によって支えられてきたロケット開発でしたが、スペースX社がロケットエンジン開発に3Dプリンターを活用し、製造工程の効率化とコスト削減に成功したことを知って、発想の転換によってロケット打ち上げの技術的困難度を低下させたことに驚かされました。カイロスロケットの開発においても多くの発想の転換によって、小型衛星の高頻度かつ最短期間での打上げという斬新なビジネスモデルを構築しようとしています。次回は是非成功して欲しいと思います。

ところで、地球の周りにはいくつの人工衛星が飛んでいるかを調べると、昨年6月時点で18,541基というデータがありました。衛星による情報通信網は、地球上で生活する多くの人々に恩恵を与えていますが、どうし



ても宇宙ごみ（スペースデブリ）の増加の問題が頭の片隅に浮かんできます。その数は10cm以上のものが約20,000個、10cm未満1cm以上のものは約50万個、1cm未満の大きさの粒子は数千万個以上あると推定されています。宇宙ゴミは秒速7～8キロで地球軌道上を飛んでいるので、どのような相対速度で出会うかにもよりますが、運用中の人工衛星や有人宇宙船にとっては潜在的かつ致命的な脅威であると言えます。科学技術の大きな進歩の裏側には厄介な副産物があることを忘れてはいけません。

考えてみれば、人類が化石燃料を利用するようになった結果、大気中に大量の温室効果ガスが放出されるようになりました。また、プラスチックという便利な素材を開発した結果、深海底にコンビニ袋が漂い、人間の血液からもマイクロプラスチックが見つかるようになりました。原子力発電はクリーンエネルギーとして現在見直されているようですが、高レベル放射性廃棄物を数

万年にわたって生活環境から隔離することは本当に可能なのか疑問が残ります。1995年に始まった国連気候変動枠組み条約締約国会議や、2015年の国連サミットで採択されたSDGsの取り組みは、まさに不都合な副産物を何とかしようとする世界的な取り組みですが、その進捗度は徐々に減速しており、昨年11月に開催されたCOP29では途上国から多くの不満の声が上がったようです。

このように、解決までの道が遠いと思われる多くの課題に対しても、発想の転換によって状況を改善することは可能なのではないのでしょうか。皆さんのような若者が持つ柔軟な発想は、これまで誰も考えつかなかった新しいビジネスモデルを生み出し、世の中の流れを良い方向に変える力を持っていると信じています。

社会という広大な海への船出には不安はつきものだと思います。しかし、皆さんは孤独ではありません。沖合には皆さんを待っているたくさんの味方がいます。それは、創立22周年を迎えようとする東京海洋大学とその前身である東京商船大学や東京水産大学を卒業した数多くの先輩たちです。混迷の様相を呈する現代社会において、卒業生のネットワークは皆さんに大きな力を与えてくれるでしょう。是非、楽水会や海洋会の正会員となり、社会の問題点や課題を共有し、力を合わせて海洋社会を明るく豊かなものにして欲しいと思います。そして、さらに大きな前進を目指す人には、是非、東京海洋大学に戻ってきて欲しいと思います。東京海洋大学はリスクリングやアップスキリングにつながるリカレント教育にも力を入れ、皆さんが世界中で活躍する手助けをしたいと思います。

卒業生・修了生の皆さんへ

海洋生命科学部長

後藤直宏



ご卒業・修了、誠にありがとうございます。皆さんがこれまで重ねてきた努力と挑戦が結実したこの日を心からお

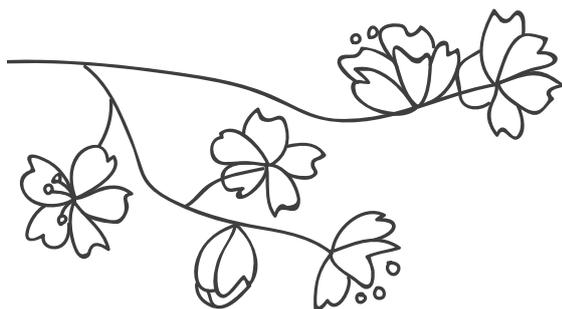
祝い申し上げます。

大学での日々を振り返ると、さまざまな経験が皆さんの記憶に残っているのではないのでしょうか。講義や実験で多くの知識や経験を身につけたこと、研究や実習での試行錯誤、仲間たちとの語らいなど、その一つひとつが皆さんの糧となり、今後の人生を支える確かな力になってくれるはずですよ。

東京海洋大学での学びは、知識や技術の習得だけでなく、自然や社会と向き合う姿勢、そして未来を切り拓く考え方を培う場でもあったと思います。「海を知り、海を守り、海を利用する」というモットーのもとで得た広い視野や多様な視点を受け入れる力は、皆さんが歩むどんな道においても必ず大きな支えとなることでしょう。これから皆さんはそれぞれ異なる道を進んでいきます。研究者として未知の発見を追求する方、企業や現場で社会を支える方、さらなる学びを続ける方など、その未来は多岐に渡るでしょう。新しい環境に挑む中で、不安や困難を感じる場面もあるかもしれません。しかし、皆さんはこれまでの経験を通じて、困難に立ち向かい自らの知恵と力で新しい道を切り拓く術をすでに身につけているはずですよ。どうかその自信を胸に未来への一歩を踏み出してください。

卒業や修了は一つの節目であると同時に新たなスタートでもあります。皆さんが描く未来がどれほど素晴らしいものになるのかを想像すると私の胸も高鳴ります。そして、東京海洋大学はいつでも皆さんを温かく迎え入れる場所であり続けます。悩んだときや立ち止まりたいときは是非とも東京海洋大学を思い出し、そしてこのキャンパスを訪れてください。

これからの皆さんのご活躍とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。広がる大海原のような無限の可能性を前に、どうか力強くそして自由に進んでいただければと思います。



卒業生・修了生のみなさんへ



海洋工学部長
元 田 慎 一

卒業生のみなさん、おめでとうございます。いま、みなさんは大学生活を終えて社会人となること、また一部の方は大学院に進学されることになり期待と不安でいっぱいだと思います。みなさんの入学はコロナ禍で始まり、1.2年生を、ほぼリモート授業で過ごした後、3年生で教室での授業が戻って来て、4年生でほぼ通常の学校生活に戻りました。よって、コロナ禍に振り回された学生生活であったかと思います。しかし、そうであっても私はみなさんが海洋大スピリットを身に付けていると確信します。海洋大スピリットの1つ目は「実学主義」を経験していることです。実学主義とは、3現（現実、現物、現場）を重要視する理念（Three Reality Principle）で、実際に現場に行き行って状況を認識し、理論的に検証して最適な解決手法を立案する考え方です。ただ、これは決して特別なものでなく、普通にみなさんが乗船実習や、授業の実験・実習科目で経験して来たことです。みなさんは現実というものが、YouTube動画やネット情報とは全く違うことを経験したはずで、行ってみないと分からない、やってみないと分からない事がある事を理解したと思います。さらに、生成系AIでもフェイク画像や根拠の無いコメントなど偽データには完全には対応出来ないことも知っていると思います。是非、本学で身に着けた「実学主義」を思い出して下さい。思考の軌道修正をしてくれると思います。

そして、さらに2つめの海洋大スピリットは、本学で得た友人、先輩・後輩たちとの交流関係です。部活に入らなくても様々なイベントで人との交流があったのではないのでしょうか？このような、横だけでなく縦の繋がり、あるいは先生や同窓会との繋がりがあることも本学のよき伝統だと思います。他大学では経験できない「海」や「船」にかかわる実学を学んだことは本学卒業生である皆さんのAdvantageです。どうか海洋大卒であることに誇りを持って下さい。そして仕事が一段落したら、新たな縦の繋がりを作るために大学に足を運んで下さい。大学にとって卒業生はいつでもWelcomeです。

最後に、ネット詐欺や闇バイトなど悪質なネット情報に気を付けて下さい。これらは若いから騙されないのではなく、若いから騙せるです。みなさんの人生が偽情報で

転ばないように、毎日の生活にも海洋大スピリットを取り入れて下さい。ご活躍を心から応援しています。

未来を切り拓く力を信じて



海洋資源環境学部長
宮 本 佳 則

本日、皆さんが大学を卒業・修了するという大きな節目を迎え、心からお祝い申し上げます。この数年間、学び、成長し、コロナ禍に困難に直面しながらも、ここまで歩んできたことに、私は深い誇りを感じています。

今、皆さんが社会に羽ばたこうとしている時期は、決して平穏無事ではありません。私たちは、国際情勢の変動、さらには円安など、世界が予測できない不安定な状況に直面しています。これらは、どれも皆さんが直面する社会の一部となり、皆さんがこれから築く未来に少なからず影響を与えることでしょう。

しかし、私はそれが皆さんにとって新たな挑戦であると信じています。社会は常に変動し続け、私たち一人ひとりに予測しきれない試練を与えることがあります。しかし、その試練こそが、皆さんが持つ力を引き出し、成長を促してくれるのです。逆境の中にこそ、創意工夫と挑戦の機会が眠っています。そして、皆さんはこれまでの東京海洋大学での学びを通じて、困難を乗り越えるための知識と視野を養ってきました。

これから進学や社会に出て、さまざまな場面で悩みや葛藤があるかもしれません。その度に、自分自身が持つ強みや、ここで培った仲間や教員とのつながりを思い出して下さい。そして、決して焦らず、確実に一步一步前進していくことが大切です。自分の価値を信じ、他者と協力しながら、共により良い社会を作り上げていく力を持っていることを忘れないでください。

皆さんは、今後の時代を担うリーダーであり、社会の変革をリードする力を持った存在です。未知の未来に立ち向かうその勇気を、私は心から応援しています。どんな困難にも立ち向かい、希望を持ち続け、常に前向きな姿勢で歩んでいってください。

最後に、皆さんがこれからの人生で大いに活躍し、成長を続けることを、心より願っています。卒業おめでとうございます。

AI時代をどう生きるか



海洋科学技術研究科長
兵藤 哲朗

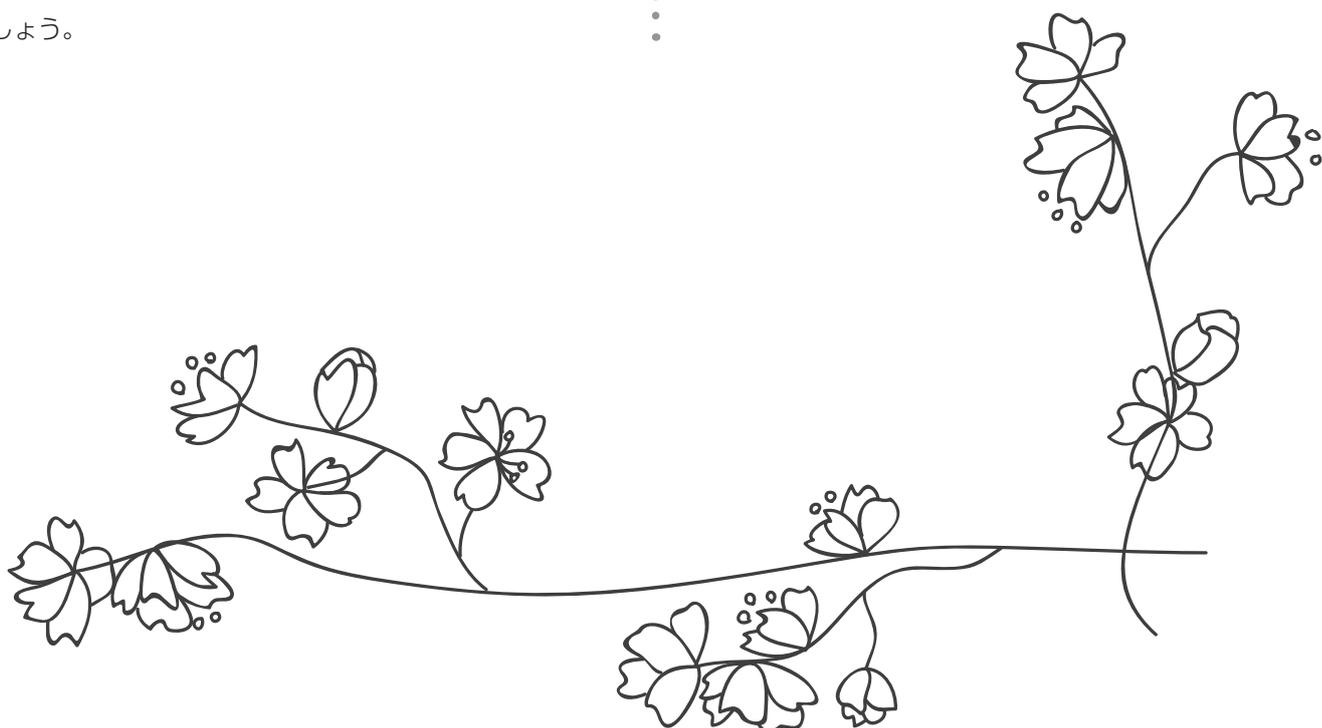
大学院を修了される皆さん、まずはおめでとうございます。コロナ禍も収まり、実りある数年間の研究生活を送ることができたと思います。次のステップに向けて、力強く羽ばたいてください。

さて、AI進化が加速しています。生成(Generative) AIのみならず因果推論(Causal)AIの大衆化です。ネット情報では「3日かかる業務を3時間で終わらせる」こともあるそうですが、これは極めて危険です。差分時間の3日弱を遊んで暮らせるわけではなく、他の業務を見つけなければ会社は給料を払ってくれません。もっと恐ろしいのは、従来であれば色々と試行錯誤しながら「考えた」3日間の脳体験を捨て去ることです。将棋の谷川永世名人の著作で目にしたことがあります。『将棋の対戦結果は棋譜として永遠に残る。しかし対戦中に『考え』実現しなかった手順は記録に残らないものの、その棋士の脳に記憶され、次の対戦の糧になる』のだそうで、考え続けることの大切さが分かります。AIとの付き合い方として、「知識を得ること、因果推論すること」はAIに任せ、AIにできない「問題を発見すること」に特化すべき…との言説も見かけますが、膨大な「考える」トレーニングなしでそう簡単に課題発見することはできないでしょう。

気をつけてください。AIによる安直な課題解決は徐々にあなたの脳を豆腐化することを。常に「考え続ける」ことが大切です。そして考え中の時間、スマホの電源はOFFにしましょう。LINEやメール受信の通知で思考が中断されていませんか？ SNSの蜘蛛の巣にからめとられていませんか？ そもそもスマホの奴隷になっている時間が長すぎるのでは？

皆さんが活躍されるこれからの時代、AI利用が避けられないのは現実だと思います。しかし自分で自分に向き合う「考える」時間は決してあなたを裏切らない豊穡な経験です。是非、「考えて」ください。

Bon voyage !



2024年度 旅立ち

卒業特集

卒業生、 修了生から在学生へ

在学生の皆様へ

海洋生命科学部 食品生産科学科4年

池長 柔羽

在学生の皆さん、こんにちは。突然ですが、皆さんはどのような大学生活を思い描いて東京海洋大に入学されたことでしょうか。

私は大学生活を最後のチャンスだと思い、まず以前から打ち込んでみたかったバレーボールを始めました。部活を通じて大会前の練習や文化祭の企画・準備など、授業や実験の課題にも追われながら、非常に忙しい日々を過ごしました。それでも、その時に出会った友達や積んだ経験が今となっては本当に良かったと感じています。

研究室に入ってから、2024年6月にアカデミックプラザで開催された食品製造展（FOOMA）に参加し、実際の食品産業の技術を間近で見ることができました。工場で使用されている業務用機械や見たことのない機器、新しい機能性物質を活用した食品など、非常に刺激的な経験ばかりでした。

大学で学ぶことが実社会にどうつながるのかを実感できる機会は貴重で、今自分の興味を純粋に探究できる時間にとってもやりがいを感じています。特に海洋大学では、食品に興味を持っている友達が沢山いるため、気軽に話ができ、ライバルのように自分も頑張ろうと思えます。

大学生の時間は、自分の興味に打ち込むことができる最後の貴重な時間だと感じています。サークル活動でも勉強でも、何にでも挑戦できるこの時期を大切にしたいと思います。大学生活が始まったばかりの方、残る時間があと少しの方も、皆さんの大学生活が充実したものになるよう心から応援しています。



関東大学秋季リーグ戦の様子（筆者前列右端）

在学生の皆さんへ

海洋工学部 海事システム工学科4年

谷口 りか

中学2年生の時に船が大好きになり、航海士を目指して海洋大に入学し、早4年が経ちました。大変なことや辛いこともありましたが、楽しく充実した大学生活を送りました。

海や船が好きな人にとって、海洋大ほど学ぶのに最適な環境はないと思います。専門家である先生方から興味深い講義を受けることができ、一般の大学にはない実習が数多くあります。

卒業まであと2か月となる今、私は帆船「海王丸」の乗船実習で、透き通った青い海に囲まれた奄美大島沖にいます。強風で帽子が飛ばされそうになるのを必死に抑

えて気象観測をしたり、仲間と協力して帆走訓練をしたり、海水風呂に浸かったり、航海中にイルカの群れを見つけたり、まだ実習1か月も経っていないのですが、乗船実習でしか得られない貴重な体験をしています。どの実習においても、その実習ならではの貴重な体験が得られるものです。皆さんも、ぜひ様々な実習に前向きに取り組んで、何か一つでも自分の糧にしてください。

さて、私は本寄稿を通して、時間の使い方についてお話ししたいと思います。私は大学4年間を通して、様々なことに挑戦しました。それらは、フィリピンでの語学留学やタイでの海外インターンシップ、水泳や趣味で始めたフラダンスなど多岐にわたっており、間違いなく今の私を形作っているものです。あの時、できない理由を探さずに思い切って飛び込んで良かったと、心から思っています。

大学生活は一瞬です。漫然と過ごしていると、あっという間に過ぎていきます。もし、今やりたいことがあるなら、やってみてください。今まで、そしてこれからも、自分を成長させてくれるような、いろいろな機会に恵まれると思います。無理に経験を積もうとは思わず、興味のあるものや、心からやってみたいと思える何かに出会ったら、とりあえずやってみることをおすすめします。ただ、やるなら、どんな小さいことでも全力でやりましょう。得られた機会を意味あるものにするのは、自分自身の努力です。限りある時間を大切に使う、悔いのない大学生活を送ってください。



水泳部の仲間と（右から2番目が本人）

「新たな出会いと挑戦」

海洋工学部 海洋電子機械工学科4年

浦山 咲貴

私は大学入学時、大学生活に対する期待よりも不安の方が勝っていました。急な進路変更、コロナ禍、他大学にはない特殊なカリキュラムなど様々な要因が重なっていたからです。

そんな中、私は入学後の部活動見学で男子カッター部に出会いました。当初は入部するつもりも全くなく、カッターという存在すら知りませんでした。しかしいつの間にかカッターの愉しさに惹かれ、マネージャーと艇長として活動を始めていました。未経験の私にこの役割が務まるのかという不安もありましたが、多くの経験や挑戦を通して自分自身が大きく成長できたと思います。

また大学の特色である乗船実習も、私にとって初めての経験でした。体力的にも精神的にも厳しい場面はありましたが、他では出来ないことを経験し学ぶことができました。私は船乗りになるという選択はしませんでした。この経験は就職活動にも大きく影響したと思います。

想像もしていなかったことを沢山経験した大学生活でしたが、この経験や挑戦は私に新しい世界を見せてくれました。今まで接点のなかった「海」に触れ、そのおかげで繋がれた仲間や知ることができた環境があります。在学生のみなさんの中には目標が明確な方もいれ



部活動の大会にて

ば、今後何をしたいか決まっていな方もいると思いま
す。ですが、大学4年間は意外と早く過ぎ去ってしま
います。多くの出会いや発見を大切に、自分自身がわ
くわくするような未来を作りあげて欲しいと思いま
す。皆様の今後のご活躍を心から願っています。

可能性は一步先に

海洋工学部 流通情報工学科4年

藤田 健 翔

皆さんこんにちは。流通情報工学科の藤田健翔です。
期待と不安を胸に上京して早4年、多くの素晴らしい先
生方や友人に恵まれ、これ以上ない学生生活を送ること
ができたと思っています。

私が伝えたいのは、「興味のある場所やコミュニティ
に自分から飛び込む勇気を持ってほしい」ということ
です。

振り返ると、私の大学生活は初めから順風満帆とは言
えませんでした。コロナの影響で、入学直後に授業が全
面オンラインになってしまったからです。

友人づくりや授業の雰囲気を感じ前には状況が大
きく変わり、不安が募る日々を過ごしました。しかし、
そのような制約があったからこそ、オンライン上でのコ
ミュニティに積極的に参加するなど、自分から行動を起
こす大切さを痛感しました。授業だけでは得られない学
び、思わぬ出会いがそこにはあり、自分の世界が少し
づつ広がっていくのを実感したのです。大学生活では、人
とのつながりや新しい挑戦を通じて得られる学びこそが
大きな財産になると私は考えます。



サークル活動時（筆者は手前）

在校生の皆さんも、ぜひ臆せずに興味のある場へ飛び
込んでみてください。サークルやインターンシップなど、
自分の視野を広げるきっかけは意外なところに転がって
います。最初の一步は怖いかもしれませんが、勇気を出
して踏み出した先には、想像以上に刺激的な出会いや経
験が待っています。大学生活はあっという間に過ぎ去っ
てしまうからこそ、一瞬一瞬を大切に、自分の手で未来
を切り拓いていってください。きっと、その積み重ねが
皆さんの成長の糧となり、「やってよかった」と思える
素敵な思い出に変わるはずですよ。

大学生活を送る皆様へ

海洋資源環境学部 海洋環境科学科4年

伊 藤 輝

東京海洋大学に通う皆様、いかがお過ごしでしょうか。
此度は在学生に向けて、卒業生として筆をとらせていた
だけの機会に恵まれたので、僣越ながらもメールを送ら
せていただきます。

これからの大学生活において、自身の都合や世情に
よって、想像したようなスクールライフが送れなくなっ
てしまうことがあります。私も体調が思わしくないとき
があり、長期間登校できなかつた時期があります。その
ような時、うまくいかない現状が嫌になって、大学生活
を投げ出したくなるかもしれません。ただ、一時の感情
に任せて自分の将来を左右する決断をすることは得策で



研究室にて

はありません。自身が築いた今だって、今までの努力と周囲の人の支え、恵まれた機会あってのもので、二度と手に入らないものです。それに、辛い現状を抜けた先に思いがけない幸運に恵まれるかもしれません。私にとって研究室や乗船実習で多くの良い人たちと巡り会えたのが、まさにその幸運でした。もちろん、そうした後も困難がなくなった訳ではありませんが、切り抜けた後はどれも大切な経験として残っています。きっと私達は何かを成すためには、日々薄皮一枚を満たせるかも分からない努力を積み重ねていくしかないのです。それは地味で苦しいことばかりでしょうが、だからこそ、若くて体力のある今が一番良い機会なのだと思います。ただ、本当に辛くて動けなくなってしまった時は、立ち止まることも決して悪いことではありません。

拙著をお読みくださりありがとうございました。それでは皆様、健康第一、勉強第二、三時のおやつも忘れずに。



「一期一会」

海洋科学技術研究科 海運ロジスティクス専攻2年

谷水 聖奈

在学生の皆さん、こんにちは。「在学生へ」ということで、私から皆さんへ「出会いと感謝」についてメッセージを送ります。私は社会人院生として、この東京海洋大学で約2年間過ごしてきました。学部生の頃から在学している方と比べると在学期間は短いですが、この2年間でたくさんの人に出会い、たくさん助けられ成長できたと実感しています。

私は「大学」というところは非常に面白い場所だと思っています。それぞれのバックグラウンドも様々であり、いろんな境遇の人がそれぞれの夢を持って入学してきます。中には海外から留学してきた方や私のように社会人として働きながら学んでいる方など、本当にいろんな人がいます。私は、「出会いは、自分を成長させ、お互いの人生を豊かにしてくれるもの」だと考えています。このメッセージを読んでいる方の中には、あまり人に話しかけるのが得意じゃない人もいます。コロナの影響もあり、少し口下手な学生も増えたと感じています。ですが、もし、もっと自分を成長させたいと思っているのであれば、まだ一度も話したことの無い人に思い切って話しかけてみてください。思い切って行動に移

すだけで世界が広がる感覚を味わえると思います。

そして次に、これまで出会った方々や普段自分を支えてくれている家族や友人に感謝しましょう。できるなら心で思うだけではなく、声に出して感謝の気持ちを伝えてみてください。ドアを開けてもらった時、店員さんが料理を運んできたときなど、些細なことに対してもありがとうございますと言ってみてください。小さな「ありがとう」の一言が巡り巡って、また新しい出会いをもたらしてくれると思います。

最後に、私と共に学生生活を過ごしてくれてありがとうございました。今後の皆さんの大学生活がより素敵になることを願っています。ごきげんよう！



日本丸の一般公開にて（筆者：右）



博士課程への進学を選択肢から外してしまった人へ

海洋科学技術研究科 応用生命科学専攻3年

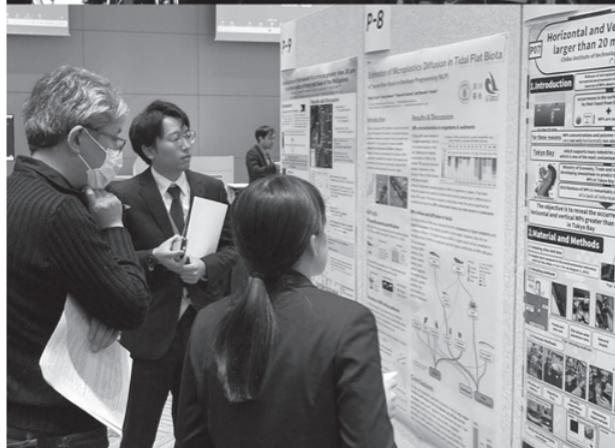
田野入 開

「いつまで大学で遊ぶつもりなんだ。」学部3年の冬、父親に大学院へ進学したいことを伝えたときにそう言われました。それ以来、博士課程進学を考える私に、周囲から前向きな言葉をかけられることはほとんどありませんでした。しかし、博士課程の3年間を経た今、この道を選んだことは私にとって非常に良い選択だったと感じています。その理由は博士課程を通して「人生は好きなことをやるべきだ（＝研究は自分の好きなことだった）」と思ったからです。私は学部3年生までは研究や学問にそれほど興味がありませんでした。部活に打ち込み、成

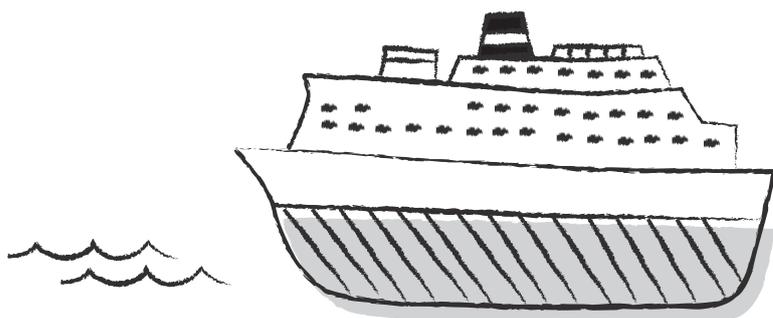
績も良くありませんでした。そして例にもれず博士課程には就職の難しさや経済安定性の面でネガティブな印象を持っていました。しかし、研究を始めると、新たな知の創出や困難を乗り越えるための工夫、自分の努力が論文として具現化され、死後も残り続けることのロマンに魅了されました。ほかの職業について詳しいわけではありませんが、これを仕事とする研究者という道に強い魅力を感じ、博士課程に進みました。

先に社会へ旅立った方々を見てみると、どうも自分の気持ちに正直である方が幸せな人生を歩めるようです。例えば、自分の分野とはかけ離れているけれども、これがやりたいと言って職を選んだ同期は、今でも輝かしい笑顔でその仕事を続けています。修士卒で就職したけれども、人生こんなものか？とあって社会から博士課程へ再入学した先輩もいます。その先輩は、今とても楽しそうに過ごしています。一方、年収ばかり気にして自分がやりたくない仕事を選んだ同期は、すぐに転職しました。少なくとも私の身の周りでは、他人の目を気にせず自分のやりたいことをやっている人が一番幸せそうに見えます。私自身も、自分のやりたいことを選んだ結果、今非常に充実した日々を送っています。父親も今は私の進路選択に理解を示してくれています。

皆さんはいかがでしょう？この大学に入学したとき、「こんな研究がしたい」と強い意気込みを持っていた方も多いと思います。しかし、4年、6年と時間が経つにつれ「博士課程はとりあえずナシ」のような固定観念が刷り込まれ、無意識のうちに選択肢から外してしまっていないですか？もし皆さんが卒論・修論を通して、研究が楽しい！と感じたのであれば、改めて博士課程への進学を「ニュートラルな視点で」検討してみることをお勧めします。



部活に明け暮れた大学生前半と研究に明け暮れた後半



卒業特集



卒業、修了する
先輩留学生から在學生へ



卒業する先輩留学生から在學生へ

海洋生命科学部 食品生産科学科4年

閻 林 い

時間が経つのは早いもので、私は東京海洋大学での4年間の大学生活を振り返る時期を迎えました。この4年間は、汗と涙、笑顔と挑戦が詰まった貴重な日々でした。そして、これから留学生生活を送る皆さんに、いくつかのアドバイスをお伝えさせていただきたいと思います。

まず、留学生活で最も大切なのは「挑戦し続けること」です。一人で異国の地に足を踏み入れることや、見知らぬ都市で新しい生活を始めること自体が、すでに大きな挑戦です。その中で困難に直面しても、失敗を恐れずに新しいことに挑戦し続けることで、多くの経験や学びを得ることができます。その過程での成長は、結果以上に価値があります。

次に、留学生にとって大きな壁となるのは「言語」です。その壁を乗り越えるためには、積極的に人とつながりを持つことが大切です。コミュニケーションを通じて得られるサポートや新たな視点は、学業や生活を充実させる大きな力になります。

さらに、大学生活の間にさまざまなことを経験し、留学生生活をより豊かなものにするをおすすめします。私の場合、ライブに行くことが大好きで、ライブは私に元気を与え、やる気を引き出し、生活に期待感をもたらしてくれました。皆さんも自分が興味を持つことを見つけ、それに勇気を持って取り組むことが大切だと思います。

この留学生活が皆さんにとって、かけがえのない素晴らしい経験となることを心から願っています。頑張ってください！



夏休みに海を見る旅



在校生の皆様へ

海洋科学技術研究科 食品流通安全管理専攻2年

黎 鈺 珊

「学生時代の時間は、人生で最も気楽で、貴重で、そして短いものです」。昔はこの言葉をよく聞きましたが、私は今、やっとその意味を深く実感しています。

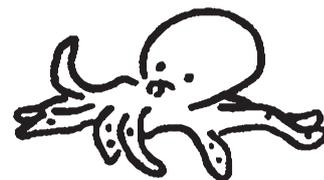
在校生の皆様は今ある授業の課題のことで悩んでいるかもしれませんが、社会物事に触れていくうちに、勉強が実は最も純粋なものであり、努力すれば報われるものだ気づくはずですよ。将来は学校で学んだ内容を直接に使う機会が少ないかもしれませんが、学生時代に身に付けた倫理的な考え方は、きっと多くの場面で役に立ちます。そこで、海洋大学で勉強する機会を大切にしてください。



小樽にて

また、勉強の以外の課外活動も重要です。さまざまなスポーツを試してみたり、アルバイトをしたり、いろいろな場所に旅行に行ったり、どんどん新しいことに挑戦してみてください。私は日本に留学して初めて雪を見た時、未知の世界に出会う素晴らしさに深く感動しました。それ以来、旅行を楽しむようになり、自分に向いていることを見つける中で、この熱意が日々の生活を豊かにし、力を与えてくれます。

最後に、人々と良好な関係を築いてみてください。困ったことがある時に、一人で悩むよりも、みんなと相談しながら前進することは良いではないでしょうか。伝えたいことはたくさんありますが、実際に自分で体験してみないと理解し難いことも多いと思います。皆様、ぜひ勇気を持って、この貴重な学生時代にさまざまなことに挑戦し、体験してみてください。



退職の年を迎えて

退職なさる

教職員の方々より一言

定年を迎えるまで

海洋生物資源学部門 教授

濱崎 活幸

「はまさき」の漢字表記として、「浜崎」、「濱崎」、「濱崎」などがありますが、私の「はまさき」は正式には「濱崎」です。ワードプロセッサでは環境依存文字として認識されることから、大学の事務関係では「濱崎」、新聞などでは旧字体を使わないことから、コメントなどが記事になるときは「浜崎」です。私が研究者として初めて書いた論文は「浜崎」で、1980年代の終わりごろでした。以下、簡単にこれまでの研究者人生を振り返ってみたいと思います。

私は、1985年10月に水産系の大学院修士課程を中途退学して栽培漁業を推進する団体に就職し、19年ほど岡山県玉野市と沖縄県石垣島の栽培漁業センターにおいて、海産魚介類の人工繁殖研究に取り組みました。縁あって、2004年7月に本学の海洋生物資源学科の准教授として採用され、増殖生態学研究室にて教育・研究活動を開始しました。栽培漁業センターでは、ある程度決められた課題を担当して研究するスタイルでしたが、大学では自由です。当初は戸惑いましたが、それまで培ってきた魚介類の人工繁殖技術を使い、様々な水生動物の初期生活史・生態研究に取り組み、研究対象生物を求めて、南の島を学生達と駆け回りました。また、40数年前の学生時代に興味を持った行動生態学に再会し、少ない研究費でもアイデア勝負で面白い研究ができることを実感しました。このような研究活動は、学生の力なしには成しえなかったものです。研究室の門をたたいてくれた多くの学生諸氏に心よりお礼申し上げます。



鳩間島の夜間調査で発見したヤシガニ

退職の年を迎えて

海事システム工学部門 教授

高木 直之

カリフォルニア州立大学アーバイン校で認知心理学の学位を取得後、アラバマの大学でポスドクをしていた時のことである。就職先の世話を頼んでいた恩師、竹林滋先生から国際電話がかかってきた。「東京商船大学という、いい学校がある。こういう話を断るのはバカってもんだ」と言われ、渡りに船と1995年4月から商船大で教え始めてほぼ30年になる。

当初は学位をとった音声認識、特に日本語話者による英語のRとLの聞き分けの学習実験にいそしんだ。8名の学生を被験者に多くの英語話者が発音した数多くのRとLを含む最小対(rightとlightなどRとLだけで意味が異なる単語)を聞かせて長期にわたって訓練した後でも、RとLの聞き分けはマスターできないことがわかつ

た。代表論文を一つと言われれば、間違いなくこれを挙げたい。

STCW95の発効に伴って航海英語と機関英語を教える必要が生じ、私が担当することになった。船にはずぶの素人、まずは航海訓練所の練習船に乗せてもらった。以後四半世紀、社船、本学ばかりかアメリカの海事大学の練習船などに乗り、今では International Maritime English Conference という海事英語の国際学会の会長を務め、海上保安庁のVTS管制官の英語講習、日本船舶工業会の英語セミナーなどを通じ、学生の教育以外でも社会に貢献してきた。

Blossom where you are planted. 「置かれた場所で咲きなさい」という言葉があるが、私の場合さしずめ「乗りかかった船で狂い咲き」と言ったところだろうか。それもすべて、門外漢の英語教師に惜しみなく知識を提供してくれた、洋の東西を問わぬ多くの船舶職員、専門の先生方、船舶職員となった教え子たちのおかげである。ここに深甚なる謝意を表して、私の swan song としたい。

日々の流れの畔に立ちて思うこと

流通情報工学部門 教授

中川 雄二

公私にわたり片付け物の多さに溜息をつく時節に入った。仮に片付け物が時価評価の表現を伴うものであれば、溜息をつく回数も減るのだろうが、概ねそうでもない。それだけに溜息の回数も増える。そうした中、感慨深く思うのは、今や昔語りとなった情報を収めた容れ物の形状と規格のことであろうか。

これらの多くは、紙媒体のものが多く、その形状は書籍やコピー紙の束であり、またその規格はA4、A3、B4、そしてB5が多くを占める。それだけに、手持ちの1種類の規格の段ボール箱での収納に際して悩みが多い。図書や用紙の規格に即すべきか、それとも収納物の情報に即すべきなのか、もちろん、後々のことを考えれば、後者に拠るべきであろうが、その選択をすれば収納箱の個数は減らない。しかも、この「後々」という機会に今後、どの程度直面するのであろうか。そうしたことを考えると、片付け物が中々減らないのである。

感慨深いのは、おそらく2000年代に入ってからであろうか。情報の収納の形状と規格が情報のデジタル化に応じて、手持ちの情報の一部がPDFやJPEG等の形式と規格に変わったことであろう。19世紀後半から量

と質を伴って、情報収納の形式と規格は紙媒体ベースの印刷物となって社会における文明と文化の創作物を表現し、記録し、そして記憶したが、今世紀になり情報収納のそれは電子記憶媒体で表現し、記録し記憶するものとなりつつある。こうした情報収納の方式は3次元の空間を多く必要としない。市販の大容量のメモリーカードやDVDとそれを収める空間で事足りる。また、一時的にはクラウドのメモリーでの収納も収納情報の利用を容易にする。まさに、こうした情報収納の規格での一連の革新の展開が感慨深いである。

とは言え、こうした革新をいかに享受できるのも、日々の整理整頓の習慣の賜物である。もし、この生活習慣とそれに裏付けられた整頓技術において当事者の完成度が低い水準にあるのであれば、こうした情報収納の革新は当事者に收拾のつかない混沌を生み出すことも事実である。

現在は、情報の収納と処理において安定期ではなく、過渡期である。そうした過渡期において古い次元での情報収納物を、新しい次元でのそれに変換するのは大きな資金、労力、時間、そして苦痛というコストを伴うものとなる。しかもそれは、報われることのないサunkコストになるかもしれない。しかし、時々の創造物を記録し記憶することが人類の文明と文化の営みでもある。古(いにしえ)においては石板、羊皮、竹簡、パピルス、あるいは紙に、現(うつつ)においては電子記憶媒体に表現される。この記録と記憶の悠久の流れの畔に立ち、今はその感慨に浸るのみである。

それでも目前には、片付け物は山積し、日夜、整理整頓の呪いをかけつづける。安閑と清浄の地を夢見て、今は片付け物に向き合うしかない。整理整頓は普遍の真理である。

マイダイアリーを紐解いて

流通情報工学部門 教授

兵藤 哲朗

実は卒論以来の研究分野の回顧は全国13大学100名を超える学生が集った2023年9月に東京大学で行われた「第22回行動モデル夏の学校」の招待講義「私と行動モデル」で紹介済みだ。URLは公開されている。

<http://bin.t.u-tokyo.ac.jp/model23/reportindex.html>

ここでは越中島キャンパスの32年間を振り返る。「わたしはふと、人生の日記を読み返したくなった。」

□1993年4月1日(木):東京商船大学・流通情報工学課程に31歳の助教授として赴任した。個室と個人専用電話番号を得たことに感激する。部屋は今の越中島会館2階の男子トイレの場所です。講義で使われていた大きな黒板が部屋に掲げてあり、便利でした。

□1997年8月1日(金):若手研究者の在外研究で生後半年の娘も一緒に一家でCaliforniaに渡る。1年間の貴重な体験。若い皆さんは怖じけることなく海外生活に挑戦してほしい。その日々は一生の糧となります。

□2003年10月1日(水):2つの国立大学が合併して東京海洋大学に。越中島と品川の文化の本格的な交流開始で、これは恵まれた環境が得られたと思う。「一粒で2度美味しい」というわけで是非、2つのキャンパス間の交流の機会を積極的に活かしてください。

□2011年3月11日(金):東日本大震災の日。入試委員長だったので翌日の後期入試の実施有無検討などもあり、研究室に泊まった。ここからわが国は大規模災害の世紀に突入した。日頃の備えを怠りなく。

□2020年4月7日(火):最初の緊急事態宣言発令。授業は連休明け開始となったので、大急ぎでオンデマンドの「交通計画学」講義資料を作成する。10コマ分のPowerPoint資料を完成してみると、自分が自分の声で語る貴重なアーカイブ資料になっていることに気づく。講義の論理展開を整理する良い機会でした。

31歳の赴任挨拶の時、Y先生から「定年までいてくださいね!」と言われて絶句した。でもまさか…です。

さあ、次いってみよー!

海洋環境科学部門 教授
遠藤 英明



『さあ、次いってみよー!』これは私の座右の銘です。子供の頃、「8時だよ!全員集合」というテレビ番組がありまして、リーダーのいかりや長介さんがよく口にしてた言葉です。私はこれまで、物事が上手くいかなかったり、悲しいとことがあった時、しばしばこの言葉を心の中でつぶやいてきました。

振り返ってみると、私は大学教員という今の仕事に巡り会えて本当に幸せだったと思います。なぜなら、大学の研究活動という仕事は「失敗しても誰からも怒られない」という非常に不思議な環境にあったからです。ぼんやりとアイデアが浮かび、理論を構築し、それを基に実

験をして、結果として失敗してしまった経験を何度も味わってきました(ただしこの失敗が、実は真実だったりすることもある?!)。

その度に心は落ち込みますが、周りから怒られたようなことは、学生時代から教員になっても一度も記憶にありません。そして失敗の度に「さあ、次いってみよー!」をつぶやきながら、手を変え品を変えてトライしてきたのです。そうすると不思議なことに少しずつですが成功への階段を登っていることが自覚できる。そして振り返ると少し高い所からいろいろなものが見えてくる。さらにいつの間にか、自分が次の段階のステージに立っていることに気づく。このプロセスが実に楽しい。

そして何よりも有り難かったことは、このプロセスと一緒に楽しんでくれる研究室の学生達に恵まれていたことでした。この環境こそが、私が自身の教育方針として最も大切にしてきた「研究を通しての教育」を発揮できる場所でした。

というわけで、これから研究に取り組もうとしている学生の皆さん、あるいはすでに卒論や修論・博論で取り組んでいる皆さん、失敗しても周りの人は咎めたりしないと思います(多分ね?)。失敗の経験は、その原因を探求することにより必ず自身の糧になります。ですから、このプロセスを大いに楽しんでみて下さい。君たちの向かう先にきっと光が見えてくるはずですよ。

では、皆さんと一緒に!「さあ、次いってみよー!」

振り返り、感謝

海洋資源エネルギー学部門 教授
谷 和 夫

本学(当時、東京水産大学)との関係は、2001~2002年度の非常勤講師「海洋土質力学」からです。その後、妻を看病するために前職(防災科学技術研究所・兵庫耐震工学センター)を辞すタイミングで、新学部の絡みでお声掛けを頂きました。2015年7月1日付けで大学改革準備室に着任しましたが、その3日後に妻が急逝し、しばらく不活発な状態(居るだけの給料泥棒)でした。2017年4月1日に再婚すると共に新学部がスタートして、人生と業務が再始動しました。

本誌(vol.25)の「新任教員の紹介」に、「これまでには主に陸の地盤を扱ってきましたが、これからは海に目を向け、特に海底鉱物資源の開発にチャレンジします。」と記しています。船舶・海洋部門の技術士を取得し、海底地盤に係る研究テーマを立上げ、講義や修士学生の指

導も徐々に増えていきました。2021年4月には、海洋資源エネルギー学科1期生が卒論配属になり、さらに教員室と実験室が改修1号館に配され、海洋地盤工学研究室がほぼ整いました。

この9年半を振り返り、部門の先生がたと事務職員の皆さまに頂いた様々なご支援・ご協力の大きさを感ずます。感謝の念に堪えません。ありがとうございます。微力が新学部の出発に少しでも役立つならば幸甚です。

老後は喧騒を離れたいと思い、2022年4月に静岡県伊東市（城ヶ崎海岸）に移住しました。近くにお越しの際はお寄りください。



海洋資源環境キャリア実習 I
(2024年9月、ノルウェー・ルンデ島)、左端が筆者

定年を迎えて

船船・海洋オペレーションセンター教授・海鷹丸船長
林 敏 史

平成元年（1989年）に練習船の航海士として採用となり、国家公務員として、国立大学法人職員として、約35年間、母校で働けたことを大変ありがたく思っています。

膨張式救命いかだを落としたり、船をぶつけて岸壁を壊したり、ビデオテープを単数とケースを間違えて大量発注したり、失敗ばかりでしたが、優秀な乗組員や周囲の方々に助けられ、大学関係者から暖かな支援を受けて、無事定年まで業務を全うすることができました。皆様から心からお礼申し上げます。

練習船において乗船実習や実験航海で多種多様な漁業や調査項目を経験させていただきました。被災地を含む全国の主要寄港地、海外は中東から南米まで26か国38港に寄港し、南米での日系2世3世の方々の大変な苦勞

など、国の事情や日本人への意識など寄港地での様々な交流体験は、良い思い出になっています。

またマラッカ海峡やパナマ運河にマゼラン海峡、大西洋（喜望峰）・太平洋・インド洋・南極洋まで多くの海を練習船で航海できました。喜望峰沖や南米の突風で船が流されたり、氷山に囲まれて逃げ場がなくなりそうだったり、暴風圏の大時化で停電して40度近く傾いたとき、台風避難で大阪湾錨泊して風速が50m/sを越えて船が大揺れだったときは、生きた心地がしませんでした。

青鷹丸、神鷹丸(新旧)、海鷹丸の船長（約12年間）になってからは台風などの自然の脅威、乗船者の生命と船という財産の管理、航海成就などの責任を強く感じながら、目まぐるしく変わる新たな規定や世界情勢の中、効率良い実習教育を目指してきました。

周辺各国の海技教育や漁業への充実度は相対的に見ても脅威となっています。予算が削減する中、益々効率良く実質評価を高めることが求められており、これからも皆様には大変な苦勞が待っていることを思うと申し訳ない気持ちになります。

まだ想像もできませんが、やっと重責から解放されホッとできることを期待し、いままで支えていただいた皆様に重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。



南極海調査中の船橋での写真



大学院紹介

海洋生命資源科学専攻／応用環境システム学専攻

海洋生命資源科学専攻

海洋生命資源科学専攻 専攻主任 教授

秋山清二

海洋生命資源科学専攻では、海洋生物の生理・生態を基礎として、それらの生物が海洋で生活できる特殊な仕組みの解明やその特徴を活用した生物資源の管理と修復保全、収穫システムや増養殖生産、環境計測や有益環境の創出等、生物生産に係わる総合的な高度利用に関する学理と技術を教育研究しています。本専攻は以下の3専攻分野から構成されています。

水圏生物科学専攻分野では、海洋生物の生命現象の解明とその生命システムなどの理解を通じて、絶滅危惧種の増産も可能にする「借腹」種苗生産技術の開発、環境共存型養殖のための飼料開発、完全循環型の養殖工場の設立、海藻の特性や機能の有効利用とその応用による有益な海洋環境の創出を目指す技術開発、分子育種や分子疫学による生物生産の安定化技術開発、極限環境に生息する生物の特性利用技術開発、生物機能を利用した環境計測や修復技術の開発等を行い、生物生産の高度利用への応用が可能な教育研究を行っています。

生物資源学専攻分野では、海洋生物の個体群ダイナミクスや集団遺伝、資源培養、行動・成長・生残・回遊等の生態特性および漁獲過程等の学理を基礎として、環境と調和した海洋生物資源の持続的利用と生物多様性の維持保全に関する分野を対象としています。具体的には、種の分化や系統進化、資源の系群構造の解明と増殖保全、栽培漁業や漁業・遊漁の影響評価、生態系や地球環境と資源変動との関連、混獲防除や選択漁獲といった合理的な漁獲技術の開発を通じて、資源開発と管理システムを構築し、生物資源と人間の共生へ応用するための教育研究を行っています。

海洋生物工学専攻分野では、海洋に生息する水産生物

だけでなく、鉱物をはじめとする多様な海底資源の有効利用を可能にするため、水産学と工学とが融合したバイオエンジニアリングやバイオテクノロジーの先端的技術について、基礎から応用までを幅広く理解し、漁場環境の保全ならびに食品として安全な水産物を生産し流通するための養殖管理技術、魚介類有用遺伝子の機能解析とその応用に関するゲノムサイエンス、有用微生物の探索およびそれらの機能解析や応用などについて教育研究を行っています。

ここ数年のデータをみると、本学の海洋生物資源学科を卒業した学生の6～8割程度が本専攻に進学しています。本専攻では、海洋生物に特異な生命活動の仕組みの解明やその特徴を活用した研究に興味があり、その成果を海洋生物資源の保全と持続的利用に応用することに意欲をもって取り組み、自立して研究を進める能力のある学生を求めています。



応用環境システム学専攻のご紹介

応用環境システム学専攻 専攻主任 教授

清水悦郎

東京海洋大学には、応用生命科学専攻と応用環境システム学専攻の二つの博士後期課程の専攻があります。博士後期課程は、原則、学部学生として4年間、博士前期課程（修士課程）学生として2年間、勉学に励んだのちに進学することの出来る課程です。近年は、技術が高度化していることもあり、本学に限らず理工系では学部卒業後に就職するのではなく博士前期課程修了までの6年間学んだ後に就職される方が多くなっていますが、博士後期課程に博士前期課程修了後、そのまま進学する方はまだまだ少ないのが偽らざる現状だとは思いますが。しかしながら、純粋に学問を究めたいと考えて博士前期課程修了後にそのまま進学する人や、社会人として数年間から数十年間活躍された後に、改めて自分の知識を深めたいと考えて入学される方も多いというのが博士後期課程の特徴であると思います。

東京海洋大学に博士前期課程は7専攻ありますが、博士後期課程では2専攻となりますので、博士後期課程の専攻は広い学問分野から構成されているということは容易に想像できると思います。その中で応用環境システム学専攻では、海洋環境、環境保全、海洋利用、ロジスティクス、海洋機械、資源探査、産業政策文化等を教育研究対象としています。日本は食料、エネルギー、鉱物等の資源の保有量が非常に限られた国であり、海を利活用していくことは、日本が国として存在していくために必要不可欠なことです。海を利活用していくためには国際動向を無視することも出来ません。国際動向を俯瞰的に捉え理系文系という枠に囚われず、海と人間の共生という大局的な観点から、指導的な立場に立てる人材の養成を目指しています。





国際交流プログラム

OQEANOUS Plus Program (IJP) に参加して

海洋科学技術研究科 海洋資源環境学専攻 1年
遠藤 美侑

私は2024年3月から4か月間、マレーシアのマラヤ大学に留学しました。私は化学工学部の環境モニタリング・アセスメント、有害廃棄物管理に関する講義を受講しました。講義では有害廃棄物が発生する事業所の管理方法の検討や、グループでクアラルンプール近郊の河川を選んで、モニタリング方法を考案する課題等がありました。レポートやプレゼンが多く大変でしたが、他留学生にサポートしてもらい、なんとか乗り越えることができました。住まいは寮を用意してくださり、そこに4人でルームシェアをして過ごしました。大学までは寮からバスが出ていて、すぐ近くに食品や日用品を買うところもあるので、安心して生活ができます。寮の裏で週1回開かれるナイトマーケットは安く美味しいのでおすすめです。寮でコミュニティが広がり、総勢40人でバスに乗って行った旅行が修学旅行のようで、とても楽しかったです。

マレーシアではイスラムの文化を体感することができました。ヒジャブを被りモスクを訪問したことや、毎日のアザーンの音が印象に残っています。他にも中華系、インド系の人々も暮らしているため、それぞれの文化を楽しむことができ、刺激的な毎日となることは間違いありません。興味のある方はぜひオケアヌス事務所を訪ねてみてください。

今回の留学は私にとって非常に有意義な経験となりました。サポートして下さった全ての皆様に心より感謝申し上げます。



寮の裏のナイトマーケット



モスクでヒジャブを被る筆者

ハノイでの38日間

海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科3年
久保田 慧 樹

私は海外探検隊第23期ベトナム隊として一か月間首都ハノイに滞在しました。今回は3か国の派遣先選択肢がありましたので、折角だからと派遣先の中で一番知識の無いベトナムを希望させていただきました。

私にとってベトナムは初めての東南アジアであり、初めての社会主義国家でした。幹線道路には国旗が掲げられ、独立の英雄ホーチミンをたたえる肖像画や銅像がいたるところに設置されています。人々は活気にあふれ、そのエネルギーに圧倒されそうになります。現地ではホテルに宿泊しました。私の大家さんはベトナム語しか話せなかったので意思疎通にとっても苦労しましたが、簡単な単語でも伝わった時の喜びは今までに味わったことのないものでした。

今回はベトナム科学技術研究所、ハノイ工科大学をはじめ4か所で研修させていただきました。学生は友好的で異国の地になれない私たちが歓迎して放課後や休日に食事や遊びに誘ってくださり、大変充実した時間を過ごしました。私たちはほかの国より長めの38日間の研修期間をいただき大変充実した日々を過ごすことができましたが、ベトナムの文化についてだんだんわかるようになり、現地の学生ともようやく仲良くなってきたところでの別れ



「中秋祭にてHUSTの学生さんと」筆者左側



「ハノイ工科大学 (HUST) キャンパスにて」筆者右から3人目

になってしまったこととても名残惜しく思います。ベトナムで得られた縁を大切に、今後のキャリアへ活かせたらと思います。

最後に、今回の貴重な機会を私に与えてくださった皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

タイで得た宝物

海洋工学部 海事システム工学科4年

齊藤美玖

私は海外探検隊第23期タイ派遣に参加し、2024年8月11日から9月9日の約1か月間タイに滞在しました。現地ではブラパ大学のチャンプリキャンパスで2週間、バンセーンキャンパスで2週間、学生とともに様々なアクティビティに参加したり研修を受けたりしました。タイ料理をつくったり、ムスリムの集落にホームステイしたり、部活動を見学したり、クラゲについて学ぶワークショップに参加したり、有名な動物園に行ったりしました。放課後には、仲良くなった学生とご飯を食べに行ったり、マーケットに行ったり、海で遊んだりしました。どれもかけがえのない思い出です。

食べ物、生活、交通ルール、言語などすべてが違い、何をするにも新鮮でした。タイの公用語はタイ語であり、英語が話せない人も少なくありません。また、私も英語が得意ではなく、話したいことを全く話せず悔しい思いをすることが何度もありました。それでもタイの学生たちは積極的にコミュニケーションを取ろうとしてくれ、タイについてたくさんのことを教えてくれました。彼らの心のあたたかさに感動しました。

海外探検隊の活動を通して経験したこと、感じたこと、学んだこと、初めてできたタイ人の友達、一緒に行った仲間、サポートしてくださった方々、すべて私の宝物であり、これらを胸に、これからもたくさんの経験をして成長し続けたいと思います。



マングローブ林にて



ホームステイ先にて

海外インターンシップに参加して

海洋工学部 流通情報工学科3年

大山留実

私は、昨年の8月25日から9月7日までの2週間、中国の上海でSHART International Safety & Environment Engineering (Shanghai) Co.L.T.D のインターンシップに参加しました。研修内容としては、社内外での業務の見学や会議への参加、中国に進出している日系企業への訪問、さらに研究課題として低空経済の調査とグローバル人材に関する考察・発表を行いました。

私がこの海外インターンシップに応募した理由は、海外にほとんど行ったことがないので行ってみたいという単純な興味でした。しかし、想像以上に刺激のある経験をすることが出来たと思います。特に企業訪問では、業界を問わず様々な企業に訪問し、それぞれの企業の方々と直接交流しました。緊張や不安も大きく、語学や対話の面では自分の未熟さを痛感しましたが、ビジネスの第一線で活躍されている方々のお話は魅力的で、自分の興味や関心のある事柄が明確になり、将来について具体的なイメージを持って考えることが出来てとても面白かったです。

また、社会人の様々な働き方や交流の仕方を知り、人や社会との繋がりが仕事に影響する現場を目の当たりにしました。普段の大学では学べない体験が詰まっていて、まずは知ろうとしたり、やってみる姿勢が非常に大切であることに気づかされました。

最後に、このような機会を与えてくれた先生方や、SHARTをはじめとした中国の皆様感謝いたします。そして、この貴重な経験を自分自身の糧としていきたいです。

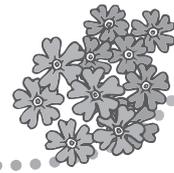


海外インターンシップ参加者（筆者は左）



日本電波工業での集合写真（筆者は左から3番目）

卒業生より



業界で活躍している OB・OGの方々



自然の恵みを未来につなぐために

2015年3月 海洋科学部海洋生物資源学科 卒業
2015年4月 千葉県庁 入庁

上田卓哉

私は現在、千葉県庁の水産職として働いています。ただ、元から水産や漁業に関心が高かったわけではなく、海洋大に入学した理由も水辺の生き物について勉強したいというものでした。入学当初は魚の体の仕組みやその出来方に興味があり、生理学などへの関心が強かったのですが、学生時代に毎週のように魚捕りに出かけて遊びながら学ぶ中、しだいにその暮らしびりなどを扱う生態学に興味に移り、研究室ではトウキョウサンショウウオをテーマに、幼生の成長や生き残りとの関係について研究を行いました。

その後の進路を考える上でも在学中の経験の影響は大きく、野外での活動を通じて野外の面白さとともに様々な生物たちの危機を痛感し、人による自然の利用・開発と保全のバランスを取るために何かできないかと考えていました。この問題には様々な切り口がありますが、そういった中で、私は、まずは一次産業である漁業を中心に、少しでも水圏環境の改善に資することができないかと思い県の水産職を目指しました。

2015年に千葉県にて水産職として採用され、最初は川や湖などに住む淡水魚を扱う研究所に配属されました。そこでは、養殖用種苗の供給や病理診断などの養殖支援の業務のほか、内水面の重要な水産資源であるアユの種苗生産や河川での動向の調査、絶滅危惧種であるミヤコタナゴの生息域外保全などに5年間取り組みました。

その後は、県庁に移り、アサリやアワビなどの水産資源の増殖やノリ養殖の生産振興などに4年間携わりました。

この9年間に携わった内水面も東京湾も開発行為や環境変動の影響を強く受け、かつてのような豊かさが損なわれており、非常に厳しい状況にある水辺です。この健全化というのはなかなかの難題であり、水産サイドのアプローチではやりきれなかったことも多かったです。それでも、自然環境や生物多様性を考慮した今後の漁業と水産行政のあり方や、水産資源や食文化などを次世代につなぐにはどうしたらよいかと考えながら、少しでも改善させようと取り組みました。一例として、当然私一人ではなく関係する人々との連携による成果となりますが、東京湾において地場のアサリの稚貝を守る取り組みが浸透し、少ないながらも再び東京湾産のアサリが流通するようになったことは喜ばしく思います。

最後に、私のような県の水産職においても、法律等の



投網による遡上アユ採捕調査

知識や様々な専門知識を持つこととともに実際の経験を持っていることが重要であると考えていますが、学びの重要性はどのような仕事でも根本的には同様化と思います。在学生の皆さんは、まさに様々な学びに励んでいる最中かと存じますが、それらは将来、仕事以外も含めて役立つと思いますので、是非積極的に学び、感性を育んでいただければ幸いです。

水産技官として参加する 環境交渉の世界

2023年3月 海洋生命科学部海洋政策文化学科卒業
2023年4月 水産庁入庁

小野田 希 史

私は現在、水産庁で技官として働いています。入庁して2年程度の経験ですが、学生の皆様の参考になれば幸いです。

現在の私の仕事は、環境系の条約に関する国際交渉や条約の履行のための国内調整、業界への説明などです。小中高の授業で習った生物多様性条約やワシントン条約が自分の仕事のフィールドになることなど当時は全く想像もしていませんでした。主体となるのは環境省や外務省ですが、これらの条約は水産資源を含む幅広い生物種やそれを取り巻く環境を扱うため、条約の細かな条文や決議一つ一つが日本の水産の現場に多大な影響を与えることがあり、水産庁としても対応が必要です。

1年目から国際会議でケニアに出張する機会をもらい、昨年は生物多様性条約第16回締約国会議（COP16）にも出席しました。世界各国から1万人以上が集い議論する場では、各国の利害や立場の違いから、段落一つどころではなく、単語一つに数時間の議論を要することもあります。もちろん、このような場では事前に日本政府として決めた方針に沿って交渉をすることになりますが、周囲の国の発言の意図や議論の流れを読み、適切なタイミングや表現で然るべき発言をする点では個人の技量が求められます。語学力や事前の勉強は当然のこととして、経験を重ねることの重要性は言うまでもありません。私はいずれも十分とは言えず、上司の技術を見て学びながら、努力あるのみと感じています。

私たちは日本の水産業の実態や政策に沿った内容が採択されるよう交渉することが求められますが、その判

断には漁業現場を知っていることが基本になります。大学時代に授業で多少なりともそれらの知見を得られたこと、実習で現場に行き、漁業者の方とお話しできたことは、今の仕事で大いに役立っています。一方で、学生時代の大半がコロナ禍だったため、留学などの海外経験を積めなかったことは非常にもったいなかったとも感じています。また、在学中は海洋大ならではの实習や先生方のサポート、人脈を最大限利用することも大切です。現場に赴き、見て学び、自分で体を動かして初めて理解できることがあると思います。残念ながら私たちの世代はそれが満足にできなかったこともあり、学生の皆様に向けてこのようなメッセージをお送りする次第です。

海洋大で過ごす時間は有限ですので、ぜひ有意義な学生生活を送ってください。



生物多様性条約COP16にて



海洋大での日々を武器に 研究の世界に挑む

- 2020年9月 海洋科学技術研究科博士後期課程、応用生命科学専攻卒業
- 2020年10月 東京海洋大学、水族生理学研究室、博士研究員
- 2021年10月 東京海洋大学、水圏生殖工学研究所、特任助教
- 2023年6月 熊本大学、大学院先端科学研究部(理学系)、特任助教

川 村 亘

私は2014年に東京海洋大学大学院に進学し、吉崎悟朗先生が主宰する水族生理学研究室にて2020年に博士号を取得しました。その後、海洋大で当時新設されたばかりの水圏生殖工学研究所に特任助教として勤務しました。2023年には、約9年間お世話になった海洋大を離れ、現所属である熊本大学に移って特任助教として研究を行っております。

海洋大では、一貫して千葉県館山市の坂田ステーションに常駐して生殖細胞の異種間移植技術を用いた“サバにマグロを産ませる”研究に従事しました。サバにマグロを産ませる研究とは、クロマグロの精巢から単離した卵や精子の元になる生殖幹細胞を、サバやスマなどの小型近縁種の仔魚の腹腔内へ移植し、この異種宿主にクロマグロの卵や精子を生産させることを目指した研究です。これが実現すれば、小型の水槽内でクロマグロ種苗を生産できるばかりでなく、世代時間を大幅に短縮することが可能になるため、クロマグロの品種改良を飛躍的に加速することが期待されます。メディア等でこの研究が取り上げられることも少なくないため、在学生や新入生のみならずも“サバにマグロを産ませる”という印象深いフレーズを一度は耳にしたことがあるかもしれません。サケ科魚類をモデルにして移植の基礎技術が樹立されてから約20年の歳月を経て、最近、私たちは小型のサバ科魚種であるスマにクロマグロの精子を生産させることに成功したことを著名な学術誌に報告しました。研究の内容は、実際の論文をご覧くださいと思いますが、私が海洋大の卒業生として在学生や新入生の皆さんにお伝えしたいことは、この研究を成就させるために全力で困難に挑んだ学生時代の日々が、現在の私の武器になっているということです。前述の通り私は、海産魚の飼育設備を有する坂田ステーションにて、移植魚の飼育やその解析に追われる日々を過ごし、海産魚の種苗生産

技術と一連の分子生物学的な実験手法を学びました。どちらか一つのスキルを持っている人は多くいると思いますが、どちらもこなせる人はそう多くはないのではと自負しています。また、実験だけでなく学会発表のスライド作成や論文執筆においても、水族生理学研究室の先生方は、昼夜を問わず全力で指導をしてくださいました。現在、私は熊本大学でメダカを用いて自身が考案した研究テーマで学生と共に研究を進めることや研究費の獲得に初めて挑戦しています。メダカは飼育が容易で実験しやすいモデル魚であるため、サバやマグロを用いていたときよりも緻密なサイエンスが要求されると考えていますが、吉崎研究室で学んだ研究のイロハは熊本大学でも十分に通用していると思っています。海洋大の校歌には「好きなことを好きなだけ学べることは幸せ者だよ」という言葉がありますが、まさに海洋大には学ぼうとする人を力強くサポートする教員や設備がそろっています。たくさんの時間をかけて困難に挑戦できるのは大学生の特権であり、その日々が必ず将来の武器となります。ぜひ海洋大生を精一杯楽しんで自分の武器を磨いてください。



メダカを飼育するシステム水槽と筆者



実行委員長から

海鷹祭の紹介



第65回海鷹祭を終えて

第65回海鷹祭実行委員会委員長
海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科3年

下 迫 楓 芽

第65回海鷹祭実行委員会委員長を務めておりました、
下迫と申します。

まずは海鷹祭にご来場いただいた皆様、海鷹の開催に
ご協力くださった大学関係者様、在校生を含む参加団体
の皆様この場を借りて心より感謝申し上げます。

今年は初日があいにくの雨となりましたが、三連休で
の開催というのもあって来場者数は約17000人と大盛
況でした。

今回は海鷹祭の紹介という事で、私個人の視点から紹
介させていただけたらと思います。

私は毎年海鷹祭の雰囲気を感じるのが好きです。海
鷹祭の準備が始まり、メインストリートにはテントの骨

組みが立ち始め、普段とは全く違った雰囲気は大学内に
流れ始めます。開催中はメインストリート、教室などを
中心に大学内が海鷹祭に来場された方で満たされ、毎年
運営に苦勞しながらも海鷹祭を楽しむ多くの人の姿を見
て私の心も満たされていきます。

また海鷹祭はいい意味で尖っているように感じます。
鯨汁、マグロの漬け丼、グソクムシの串焼きなど水産物
を使用した飲食物の販売が多くみられ、また海に関連し
たハンドメイドマルシェである、うみたかマルシェや参
加団体による水槽・標本展示や活動発表など他大学祭に
はないようなマニアックな出店内容も多くみられます。
海鷹祭はこのような海や海洋大の魅力を多くの人に知っ
てもらおう機会であると私は考えております。

もし海鷹祭に来たことがない在校生の方やご親族がい
らっしゃいましたら、ぜひとも一度は海鷹祭にお越しに
なって、私と同じように海鷹祭の雰囲気を好きになっ
ていただけると嬉しいなと思います。



新任教員の紹介



海の研究戦略マネジメント機構 准教授
近藤 久美子

2024年5月1日付で海の研究戦略マネジメント機構の准教授に着任いたしました、近藤久美子と申します。

私は、「サーキュラー・エコノミーの実現に資する次世代型CSV (Creating Shared Value: 共通価値の創造) 経営の研究」において、企業の環境活動データベースを用いた定性・定量分析に従事しています。大学院では、「仮想水 (virtual water)」について、国際貿易に伴う変化に着目することで、企業の自然資本リスクを明確化し、気候変動への適応策 (adaptation measures) を考える一助となる研究にも取り組みました。仮想水は、食品・工業製品の製造過程における全ての水使用量 (中間財・最終財に必要な水) を表します。

近年、気候変動への適応策の領域では (例えば、水資源の枯渇・農地の塩害・温暖化による感染症リスク・斜面災害といった地域の社会課題を踏まえながら)、人々の生活の質 (QOL) を高めるソーシャル・イノベーションの創出に向け、さまざまな環境技術を活かしたグローバルなプロジェクトが進められようとしています。このような取り組みを展開する企業事例にも着目してきました。京都大学大学院で博士号 (Global Environmental Studies) を取得後、複数の教育機関において、環境経済/経営や公共政策研究の機会に恵まれました。環境学に強みを持つ東京海洋大学の学際研究の推進に貢献できればと思っています。よろしく願いいたします。



水圏生物生産工学研究所 准教授
川戸 智

令和6年9月1日付で水圏生物生産工学研究所に着任いたしました、川戸智と申します。私は学生時代、クルマエビとその病原微生物のDNA配列 (ゲノム) を解析する研究に取り組みました。学位取得後は、水産研究・教育機構と国立感染症研究所でお世話になり、このたび母校に戻ってまいりました。今後、ゲノム情報などの大規模データを活用するノウハウを生かし、水産生物の遺伝的改良 (分子育種) や漁業資源動態の解析にも取り組みたいと考えています。

私の研究は、大まかにいうと「分子生物学」というジャンルに含まれます。この分野では、総じてヒトやハエなどの「モデル生物」を用いた基礎研究をもとに教科書が書かれています。

では、応用志向の学問である水産学という立場から行う分子生物学的研究は、基礎生物学の垂流にすぎないのでしょうか。私はそう思いません。水産生物は、ヒトやハエの外挿では理解できない固有の特性を持っています。私たちが日々口にする魚介類や海藻、そして水中にすむ数多の生物たちをつぶさに観察してみると、得てしてそこには我々の常識を打ち破るような生き様が見えてくるものです。

水産学は、産業への還元という実用価値をテコに、生命の真の多様性、柔軟性、奇妙さを理解する契機を与える学問といえます。私は、応用を見据えつつ、水産生物のユニークな特性についての研究成果を発信することで、水産学固有の価値を示したいと考えています。

学生の

課外活動報告

バドミントン部

海洋工学部 海洋電子機械工学科2年 部長
橋本 凜

東京海洋大学体育会バドミントン部は、品川キャンパスの体育館で週3回、火曜日・水曜日・日曜日に練習を行っています。練習時間は19時から21時で、その後22時まで自主練習の時間が設けられています。メンバーは初心者から経験者まで幅広く、和気あいあいとした雰囲気の中でバドミントンを楽しんでいます。

練習では、基本的なスキルの習得から高度な戦術の実践まで、丁寧に指導を行っています。そのため、バドミントンを初めて始める初心者の方でも安心して参加できます。また、経験者にとってもスキルを磨く良い環境が整っています。練習は和やかさの中にも真剣さがあり、メンバー同士で日々切磋琢磨しています。

私たちは現在、関東大学バドミントンリーグの5部に所属しており、4部への昇格を目指して日々努力を続けています。試合では仲間とのチームワークを発揮し、一戦一戦を大切にしながら成長を目指しています。

興味のある方はぜひ一度、私たちの練習に参加してみてください。一緒にバドミントンを楽しみ、目標に向かって頑張りましょう！



昨年度の三送会

木曜会

海洋工学部 海事システム工学科3年 主将
飯泉 慧大

木曜会は、9mカッターより一回り大きい「ピンネス」を使って帆走を行う部活です。普段は隅田川や豊洲沖までピンネスを漕ぎ、部員同士の連携や体力を養っています。また、数か月に一度、土日や長期休暇を利用して浦安沖でセーリングを実施し、帆走技術の向上に努めています。現在の木曜会の活動目標は、夏に伊豆大島まで巡航する長距離帆走の復活です。コロナ禍などの影響で実施できない期間が続いていますが、これを再び実施することが私たちの使命です。

一言で、帆走には多くの知識と経験が必要で、一朝一夕で習得できるものではありません。15人ほどのクルーが艇長を中心に、一丸となって合計4枚のセイルを操作し、風を読みながら他船の動向にも気を配り、安全に航走していくのです。しかし、私たちはセーリングごとに成長を重ね、将来は木更津や館山、城ヶ島、そして伊豆大島への巡航を目指していきます。

さらに、帆走以外にも海王祭での出店や自炊訓練、富浦ステーションでの合宿などを実施し、充実した学生生活を楽しんでいます。木曜会はこれからも日本で唯一無二の部活として、伝統を守りながらも楽しんで活動していきます。



荒川沖でのセーリング

漕艇部

海洋生命科学部 食品生産科学科4年

新見 萌 恵

～創部80周年～

東京海洋大学漕艇部（ボート部）は、昭和20年（1945年）創部で、今年80周年を迎える伝統のある部です。埼玉県戸田漕艇場にある本学戸田艇庫で、毎日合宿生活をしながら、毎朝4時起床で朝の乗艇トレーニング後に、品川および越中島キャンパスで授業を受け、夕方に戸田に戻り、ウエイトやエルゴメーターを使った体カトレーニングを実施しています。毎朝の乗艇トレーニングでは、監督やコーチが常に見守って下さり、技術面や精神面、さらには生活面のアドバイスをしてくださいます。そして、本学ボート部は、春の伝統の定期戦「五大学レガッタ（東京外国語大学・東京科学大学・筑波大学・防衛大学・本学）」や、秋の全日本インカレなど、数多くの大学間交流や試合を楽しんでチャレンジしています。

～世界選手権 日本代表選手に～

私は、ボートは未経験で海洋大漕艇部に入部しました。入部当初は、経験豊かな先輩方、他大学の選手との圧倒的な実力差に打ちのめされながらも、「日本一」という目標に惹かれ、日々の厳しいトレーニングに励みました。その結果、大学3年の冬に開催された日本代表選考会にて、U23日本代表に選出されました。そして、2024年U23ローイング世界選手権の日本代表として、6月下旬にオランダ・ロッテルダムで開催された2024 FISU World University Championship Rowingと、8月下旬にカナダ・セントキャサリンで開催されたU23世界選手権への出場の機会をいただきました。

オランダで迎えた初めての国際試合では、予想を超える強風による荒れた水面、さらに日本選手団用艇の輸送遅延というトラブルが重なり、海外試合の厳しさを痛感しました。焦りから調整が不十分となり、本来の力を発

揮できなかったことが課題として残りました。この経験を教訓とし、カナダでの世界選手権に向けた夏合宿では、どのような環境下でも安定したパフォーマンスを発揮できるよう技術面と精神面、そして生活面の全てを見直し鍛え直しました。さらに、軽量級選手として競技パフォーマンスを維持しながら適正体重を管理することも、大きな挑戦でした。特に海外遠征では、食文化の違い、時差や気温差に適応することが求められました。そのため、栄養指導の方にもご協力をいただき、徹底した食事管理とコンディション調整を行いました。こうした準備の成果もあり、カナダでの世界選手権では自身の力を存分に発揮でき、早稲田大学漕艇部の猪野選手と組んだ女子軽量級ダブルスカルで総合7位入賞を果たすことができました。

今回の海外遠征で世界の舞台に立つことで、改めて世界の強さを実感しました。それでも最後まで諦めずに上を目指し、世界一にも挑戦できたこの機会は、私にとってかけがえのない経験となりました。競技生活には一区切りをつけましたが、これまで培った忍耐力や自己管理能力を、今後の様々な活動に活かしていきたいと考えています。

最後に、ダブルスカルで共に健闘した猪野選手、4年間お世話になった海洋大漕艇部の皆様、そしてこの挑戦を支えてくださったすべての方々に、心から感謝申し上げます。



ダブルスカル・クルー（筆者は左）



カナダ世界選手権（筆者は左漕手）



海洋大漕艇部の仲間と

ニュース

&

トピックス

2024年度海洋工学部父母等懇談会

11月16日（土）に海洋工学部父母等懇談会を開催しました。オンライン会議システムWebexに加え、大学に実際に来ていただいたの対面との併用にて実施しました。

事前に郵送により通知したところ、多数の参加希望があり、対面にて89名 オンラインにて62名の方々にご参加いただきました。

当日は舞田理事の開始挨拶から始まり、まず参加者全員に舞田理事より教育活動、国際交流等の説明、元田海洋工学部長より学部の教育等について、説明を行いました。

後半は学科ごとに分かれて、質疑応答を行い各学科では、修学状況、就職活動、乗船実習等について、質問に丁寧に回答しました。

参加者の皆様から多くの質問をいただき、それに回答する形で本学、海洋工学部の教育活動等について、ご理解いただき、有意義な時間となりました。

参加者アンケートでは、対面・オンラインの併用を希望される意見が多かったことから、今後も可能な限り併用開催を目指す予定です。

2024年度海洋生命科学部・海洋資源環境学部 父母等懇談会

令和6年11月に、海鷹祭開催に合わせて、海洋生命科学部・海洋資源環境学部父母等懇談会を開催しました。品川キャンパス会場とWeb参加を併用するハイブリッド方式による初の開催となりましたが、事前参加申込では対面約170名、オンライン約70名の参加希望があり、多数の方にご参加いただきました。

当日は、宮本海洋資源環境学部長が司会進行し、舞田教育・国際担当理事からは大学の現況及び本学が進めている教育改革や国際化への取組みについて、後藤海洋生

命科学部長からは特色ある学部教育や就職、学生支援の取組みについての説明がありました。

続いて、各学部・学科教員により、事前に寄せられた質疑への回答や会場内での質疑応答の受付を行いました。

会場、オンラインともに多数の父母等の皆様にご参加いただき、事後に実施したアンケートにおいても様々な御意見・御要望が寄せられ、大変有意義な懇談会となりました。

「海の日」記念行事を開催しました

一般の皆様には海に親しみ・興味を持っていただくために、7月15日（月）の「海の日」に記念行事を開催しました。当日は、「海の日」制定の由来となった重要文化財「明治丸」に関するシンポジウムや、プラネタリウム上映会、工作教室、ポスター展示、研究室公開、マリ

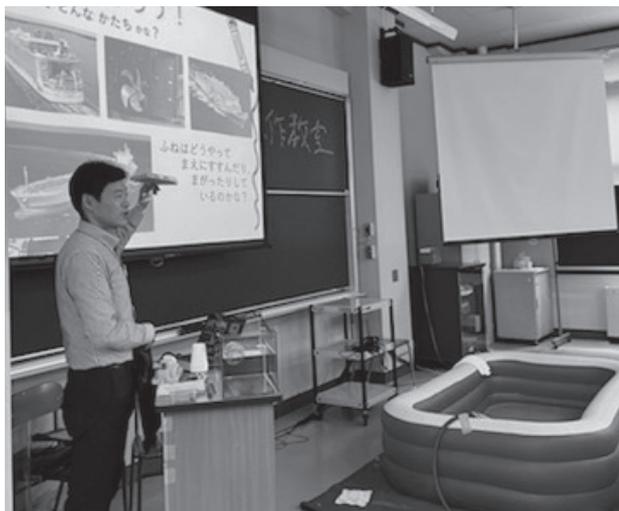
ンサイエンスミュージアム特別公開等、本学の教職員や学生による様々なプログラムが実施されました。越中島キャンパス989名、品川キャンパス438名、合計1,427名の方々にご来場いただきました。



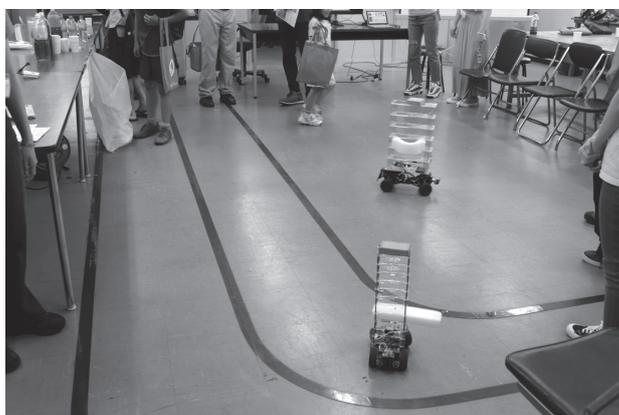
「海の日」制定の由来となった「明治丸」



プラネタリウム上映会



水の実験・船の工作教室



研究室公開（三次元重心検知研究室）

令和6年度9月期学生表彰授与式を行いました（令和6年9月27日）

令和6年度9月期学生表彰授与式を9月27日（金）、越中島キャンパスにおいて行いました。

授与式では、学生表彰規則に基づき、課外活動において優秀な成績を取めた学部学生1名、研究活動において特に顕著な研究成果を挙げた大学院学生9名および社会活動において優れた評価を受け、かつ、本学の名誉を著しく高めたと認められる大学院生2名に対して、日頃の努力を称え、表彰状及び記念品が授与されました。



井関学長（前列中央）と受賞した学生

令和6年度9月期学位記・修了証書授与式を挙りました

令和6年度9月期学位記・修了証書授与式を、9月27日（金）に越中島キャンパス越中島会館講堂にて挙りました。

今年度の卒業生・修了生は、学部卒業生2名、海洋科学専攻科生1名、乗船実習科修了生39名、博士前期課程修了生31名、及び博士後期課程修了生21名の計94名です。



式典の様子

来賓の方々にご臨席、保護者等の方々にご列席いただき、卒業生・修了生の門出を祝う温かい雰囲気の中での開催となり、それぞれ授与された学位記・修了証書を胸に、思い出の詰まった母校から旅立ちました。

井関学長が式典中に読まれた式辞の全文は、大学ホームページからご覧いただけます。



卒業生・修了生

令和6年度10月期入学式（大学院）を挙りました

令和6年度10月期入学式を、10月4日（金）に品川キャンパス楽水会館大会議室にて挙りました。

本学では、大学院（海洋科学技術研究科）に10月期入学の制度があることから、この時期に開催しています。今年度10月期は、多くの留学生を含めた、博士前期課程30名、博士後期課程23名の計53名が、東京海洋大学生として新たな一歩を踏み出しました。

来賓の方々にご臨席、保護者等の方々にご列席いただき、新入生の門出を祝う和やかな雰囲気の中での開催となりました。

井関学長が式典中に読まれた式辞の全文は、大学ホームページからご覧いただけます。



式典の様子



新入生

「水辺活動の安全な実施及び水難事故防止のための学習会」の開催について

夏の水辺活動シーズンを前に、すべての海洋大生が安全に楽しく水辺活動を行うことを目的に「水辺活動の安全な実施及び水難事故防止のための学習会」を開催しました。今年度はオンデマンド講義（7月12日～8月9日）と対面による心肺蘇生法実習（越中島キャンパス7月19日、品川キャンパス7月25日）を実施しました。オンデマンド講義は37団体の学生等総勢40名、心肺蘇生法実習は48団体の学生等総勢52名が参加しました。

本学習会では、特に水辺で活動を行う際の危険性や事前準備の重要性等についての講義を行い、事故防止に対する意識を高めてもらうこと、また、釣りやダイビング等の水辺で活動を行う際のマナーについても学習し、その他、課外活動中を含め普段の生活で、近くにいる方が急に倒れて心肺停止という不測の事態が生じた際に、救急隊が到着する前に、素早く冷静にAEDの使用と心肺蘇生法が行えることを目的に、講義と実習を通して学習しました。

受講者からは「夏休みは特に水難事故が多いので、この時期に知ることができて良かった。」「実際に心肺蘇生方法や、AEDの使い方について知り、体験できたの

がよかった。」等の感想が寄せられ、水辺活動の安全な実施及び水難事故防止について理解を深めることにつながる、内容の充実した研修会となりました。



心肺蘇生法実習の様子

自転車安全教室（スケアード・ストレイト）の実施について

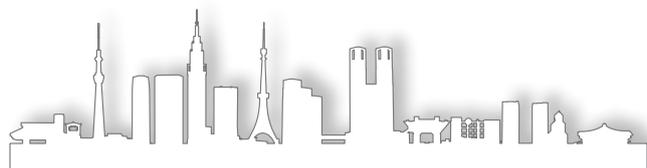
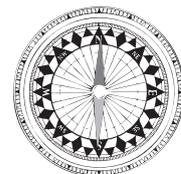
令和6年4月4日に品川キャンパスグラウンドにおいて、高輪警察署交通課様による、スケアード・ストレイト（交通事故再現）方式による自転車安全教室（スタントマンによる交通事故再現、電動キックボード等の交通ルールの説明）、が実施されました。実際に車両を使用するスタントマンによる臨場感あふれる交通事故再現が見られる貴重な機会となりました。



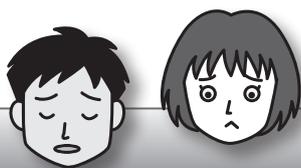
自転車安全教室見学の様子



学生相談室からの



お知らせ



学生相談室について

学生相談（カウンセリング）

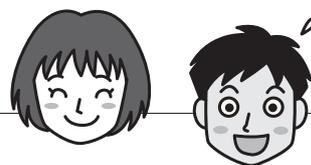
学生生活、進路、対人関係で悩みがある場合は、専門カウンセラーが相談に応じます。

話をしてみることで、あるいは自分の思いを表現してみることで、思いのほか気持ちが楽になったり、次

への展開へのきっかけが見つかったりもするものです。相談内容についての秘密は厳守されています。

なお、曜日が変更となる場合がありますので、HPをご確認ください。

品川キャンパス

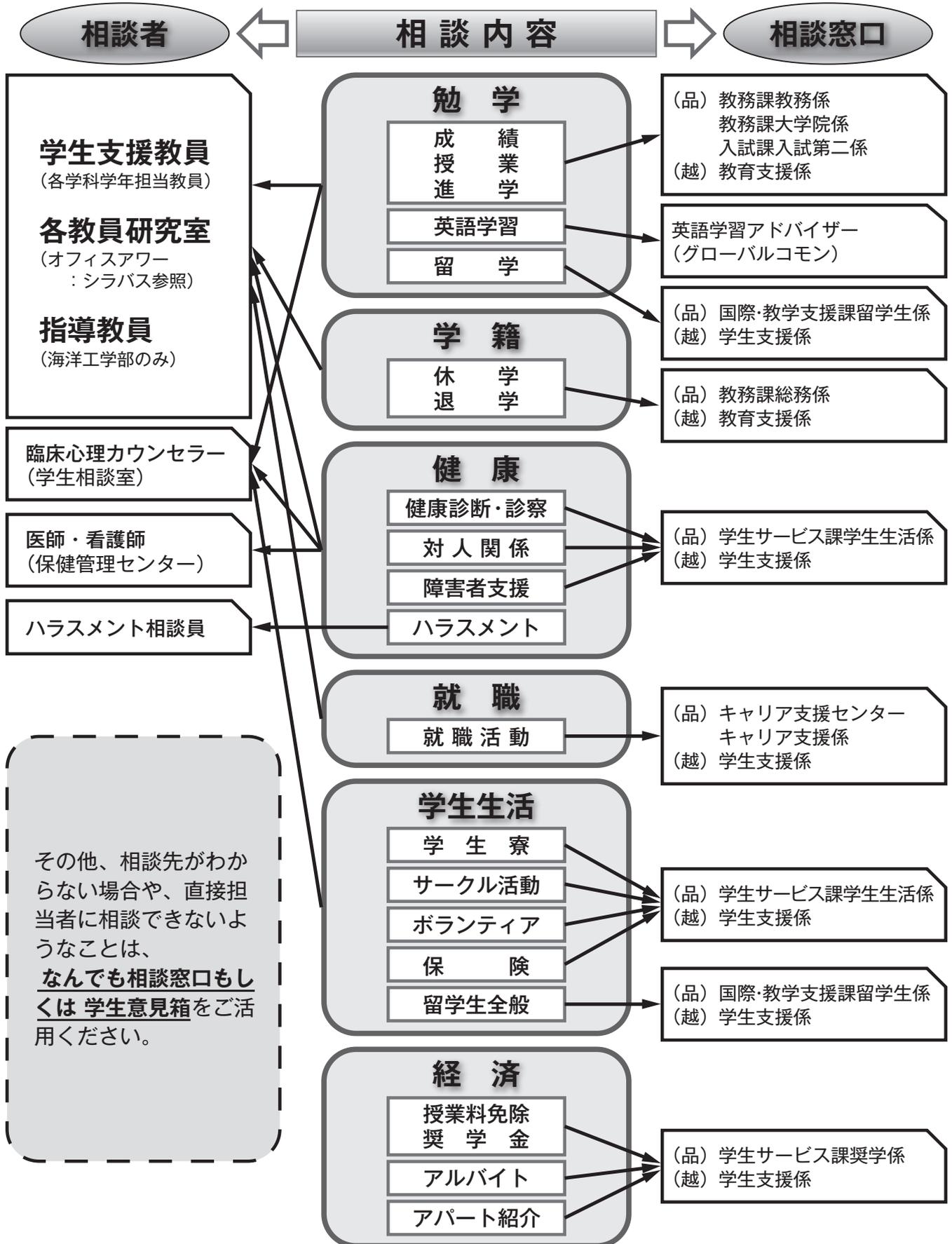


場 所	大学会館1階学生相談室
日 時	詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。
相 談 員	藤田先生（女性：臨床心理カウンセラー・月曜日担当） 高橋先生（女性：臨床心理カウンセラー・木曜日担当）
予約方法	メールでご予約ください。 メール s-counseling@o.kaiyodai.ac.jp

越中島キャンパス

場 所	越中島会館1階 学生相談室
日 時	水・金曜日 12:10～16:10 詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。
相 談 員	善積先生（女性：臨床心理カウンセラー・水曜日担当） 河崎先生（女性：臨床心理カウンセラー・金曜日担当）
予約方法	保健管理センターでご予約ください。 1. 保健管理センター窓口にて 2. 電 話 03-5245-7357（保健管理センター事務室） 3. メール e-hoken@o.kaiyodai.ac.jp

本学の学生相談体制について



お知らせ

キャリア支援センターの取り組みについて —自己実現に向けて—

キャリア支援センターでは、専任の教員による個別のキャリア相談・エントリーシート添削・模擬面接、ワークショップ等の指導により、学生の進路選択に対する意識の向上を促しています。また「就職ガイダンス」、「企業説明会」、「公務員試験対策講座」、「企業による業界セミナー」等を開催して、学生を支援しています。学内でも各部署と連携し、進路支援体制の強化を図っています。

学部生に対しては、「在り方・生き方」を考えることを通して、自己のキャリアデザインを描くことに有益な機会を設けています。「キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」の講義では、キャリア開発に関する講義や産業界で活躍する人材をゲストスピーカーとして招くとともに、学生から社会人へ

の視点を意識し、キャリア形成に向けた意識を高める内容としています。

大学院生に対しては、「高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」を開講しています。博士後期課程学生を対象とした「レジデントシップ(ジョブ型研究インターンシップクラス)」では、自立した高度専門職業人や研究者として、進路の可能性を広げるための教育活動を実践しています。

キャリア支援センター HP



国立科学博物館および国立美術館の利用について

本学は、「国立科学博物館 大学パートナーシップ」および「国立美術館キャンパスメンバーズ」に加入しております。

◆国立科学博物館 大学パートナーシップ利用可能施設

施設名	住 所
国立科学博物館(上野本館)	東京都台東区上野公園7-20
附属自然教育園	東京都港区白金台5-21-5
筑波実験植物園	茨城県つくば市天久保4-1-1

本学の学生証を提示することで、下記施設の常設展が無料で利用できるほか、特別展・企画展を割引料金で鑑賞できるなどの特典があるので、ぜひご利用ください。

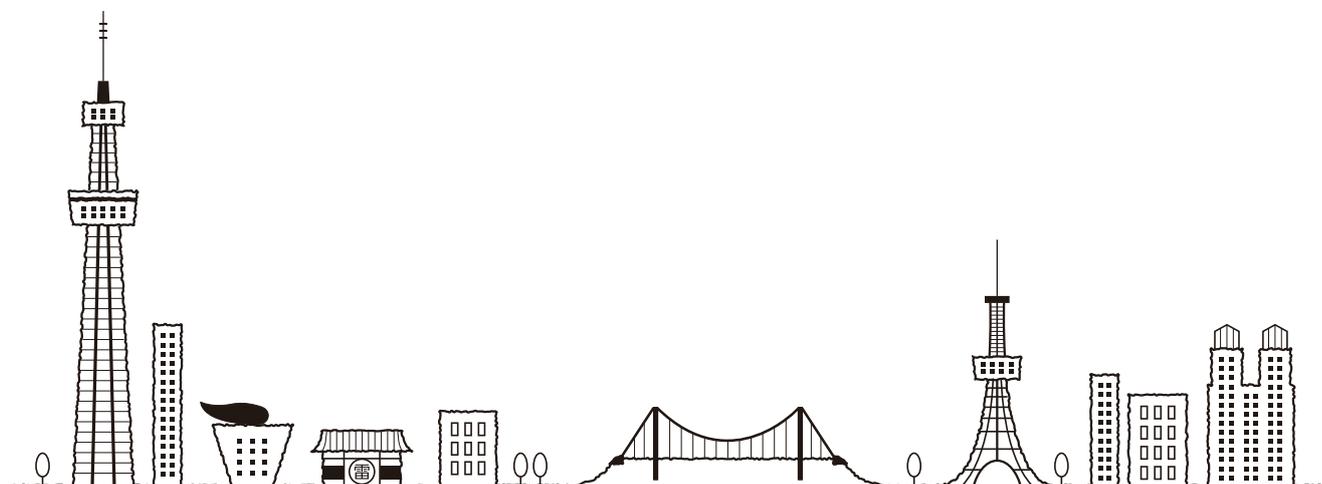
◆国立美術館 キャンパスメンバーズ利用可能施設

施設名	住 所
東京国立近代美術館	東京都千代田区北の丸公園3-1
国立西洋美術館	東京都台東区上野公園7-7
国立新美術館	東京都港区六本木7-22-2
国立映画アーカイブ	東京都中央区京橋3-7-6
国立工芸館 (東京国立近代美術館工芸館)	石川県金沢市出羽町3-2

東京海洋大学 公式X (旧Twitter) を開設しました

大学の最新ニュース、メディア・イベント情報などを発信しています。
是非フォローをお願いします。

東京海洋大学 公式X (@tumsat_official)



緊急時連絡システムについて

(さくら連絡網)

1. 緊急時連絡システムとは

本学のすべての学生・教職員と緊急時に連絡をとるためのメール・LINE・アプリによる配信システムです。

- ①台風・地震等の自然災害やインフルエンザ流行等による**緊急の休講等**を連絡します。
- ②**災害時の安否確認**や健康状態の収集手段としても使用します。
- ③その他、掲示板で告知するお知らせの中で緊急性があり重要と判断するお知らせ等の連絡をします。

2. 登録方法

携帯電話・スマートフォン等の携帯端末や自宅PC等の**複数のメールアドレス（4件まで）、LINE、アプリ**が登録できます。**必ず登録してください。**

3. 登録手順

(1) さくら連絡網登録用QRコード又はURLにアクセスします。

QRコードはこちら →



URLはこちら → <http://390390.jp>

URLを直接入力した場合は、
認証コードの入力を求められます。
認証コード：204 441 4

(2) 連絡を受け取りたい方法を【メール】、【LINE】、【アプリ】から選びます。（※ 3種類とも登録できます。）

(3) 【メール】を選んだ場合

- ①登録用メール送信画面に切り替わるので、そのまま送信します。（※メール本文は変更しないで下さい。）
- ②さくら連絡網から、メールで登録用のURLが届きます。
- ③URLにアクセスして、登録画面からIDとパスコードを入力します。

【LINE】を選んだ場合

- ①LINEの友だち追加ボタンから登録（追加）します。（トークから登録開始）
- ②認証コード：204 441 4 を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

【アプリ】を選んだ場合

- ①さくら連絡網のアプリをインストールします。
- ②アプリを起動して、認証コード：204 441 4 を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

(4) メニュー画面（以下、マイページといいます）が表示されたら登録完了です。

4. メール受信時の注意

- ①緊急時連絡システムは、メール、LINE、アプリを受信者が開封したかどうかの確認ができるシステムです。
また、アンケート形式で安否確認を行う場合もあります。受信した場合は、必ず開封し、内容を確認した後、指示に従って回答して下さい。
- ②登録用メールが届かない場合は、ドメイン指定受信に「school-i.net」を追加登録して下さい。
- ③マイページ (<https://390390.jp/parent/menu>) をブックマーク（スマートフォンの場合はホーム画面に追加）しておくと、後日、メールアドレスの変更等を行う際に便利です。また、簡単ログイン設定をしておくと、次回からワンクリックでマイページにアクセスできます。
- ④配信先の変更を希望する場合やアドレス自体を変更した場合は、マイページのメニューの「連絡先を追加」から新しい連絡先を追加するとともに、「登録情報確認」から古い連

絡先を削除して下さい。

- ⑤ログインIDとパスコードは、入学後、各自の海洋大アドレス及び入学手続き時に登録したアドレスにメールで送付します。
- ⑥パスコードを紛失した場合は、以下の問合せ先へご連絡下さい。
- ⑦緊急時連絡システムは、大学からの送信専用アドレスです。上記のアンケート形式での回答以外は、大学側では内容の確認ができませんのでご注意ください。

5. 個人情報の取り扱いに関して

緊急時連絡システムにご登録いただいたメールアドレス等、個人情報に関しては、「個人情報保護に関する法律」並びに「国立大学法人東京海洋大学個人情報保護規則」に基づき適切に取り扱います。また、上記の目的に限り使用し、他の目的で使用することはありません。

EMERGENCY CONTACT SYSTEM

“さくら連絡網 (SAKURA RENRAKUMOU)”

What is the Emergency Contact System?

The purpose of this system is to contact students, professors and university staff members by email in the following cases:

1. to inform them when classes are suddenly canceled due to a natural disaster (typhoon, earthquake), a flu epidemic or other reasons
2. to gather information about the safety and health of university members after a disaster
3. to disseminate urgent and important information displayed on the university's notice boards

How to register

Please register multiple mail addresses (up to Four) or LINE or other apps from mobile terminals such as mobile phones, smart phones, and home PCs. Please be sure to register.

Registration process

1. Access the QR code or URL for Sakura Renrakumou Registration.

QR code



URL

<http://390390.jp>

* If you enter the URL directory, “authentication code” will be required.

authentication code: 204 441 4

2. Choose the method by which you would like to receive information from the university: “Email,” “LINE” or “app.”

* You can also register all three.

3. **If you choose “Email,”**

- ① the page moves to the sending registration mail screen; please send an email.

*Please do not change the body of the mail.

- ② receive the registration email from Sakura Renrakumou.
- ③ access the URL and enter the ID and passcode on the registration screen.

If you choose “LINE,”

- ① register (add) from LINE's Add Friends button. (i.e., start from the “Talk” page).
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

If you choose “app,”

- ① Install the Sakura Renrakumou app.
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

4. Registration is completed when the menu screen is displayed.

Notes

- The system is configured to detect whether recipients have accessed their messages. It is also used to gather information about the safety of the registered community through questionnaires. When you receive it, please ensure that you open the message and reply according to the instructions.
- If you fail to receive the registration form after sending the registration email, please check your mobile phone's spam filter settings. Add the domain name school-i.net to your list of authorized contacts.
- Add the system login page (<https://390390.jp/parent/login>) to your bookmarks to easily access your email and passcode settings.
- After admission, ID and Passcode will be sent by e-mail to each student's Kaiyo University mail address and to the mail address registered at the time of admission procedure.
- To change your delivery settings, register a new email address.
- If you forget your passcode, contact the responsible section using the contact details below.
- The system is a send-only address. The university cannot receive emails sent to this address.

Privacy policy

Email addresses and other personal information registered on the system are strictly protected according to the Act on the Protection of Personal Information and the university's privacy policy. The system is used exclusively for the purposes stated above.

Contact

General Affairs Department, General Affairs Division
Email: so-soumu@o.kaiyodai.ac.jp Tel: 03-5463-0354

重要!

ネットワーク障害防止のための注意事項

キャンパス内で、ネットワーク停止が頻発しています。
研究室内の配線の点検をお願いします。

ループ状にケーブルを接続しない

ケーブルの両端をネットワーク機器に接続すると、出口のない通信パケットがネットワーク内で増大し、フロア全体や建屋全体が通信不能になるなどの重大な障害が引き起こされます。利用しないケーブルは機器から取り外してください。



古いハブ、壊れた LAN ケーブルを使用しない

古くなったプラスチック製のハブ(HUB、Switch)は、熱暴走等でフロア全体の通信障害の原因となることがあります。壊れた配線やコネクタの損傷も通信トラブルの原因になる場合があります。導入後の年数や破損状況を確認し、適宜、買い替えましょう。

→ **金属製ケースのハブがオススメ**です。放熱に優れ、安定して長く使えます。
詳しい型番などは下記窓口にお問い合わせください。

研究室内のルータの設定・接続を正しく行う

研究室で個別に設置したブロードバンドルータ、無線 LAN ルータの DHCP 機能の誤設定により、フロアや建屋全体での通信障害につながる場合があります。ネットワークケーブルが正しく接続されているかを点検してください。

→ **「WAN」「LAN」を間違えると障害が発生します!**

古い OA タップの使用、定格電流を超えた使用や、タコ足配線は**火災の原因**になりますので、注意してください。



注意

PC は最新の状態にアップデートしてください

OS の脆弱性を狙ったウイルスによる情報漏えい被害が世界的に報告されています。利用している OS やウイルス対策ソフトを常に最新の状態を保つようにしてください。私有のノート PC でも、大学配布のウイルス対策ソフトをインストールすることができますので、是非活用してください。

Windows XP、Vista、7、8、8.1、Mac OSX、macOS の古いバージョンは、メーカーサポートが終了しています。これらの OS をお使いの場合は速やかに最新の OS に更新してください。現在利用可能な OS は、Windows 11、Windows 10、最新バージョンの macOS です。

PC 等を廃棄する際はデータの消去をしてください

廃棄するパソコン等からの情報流出を防ぐため、ハードディスク、SSD 等の記録媒体の破壊装置、消去装置を利用してください。下記窓口にお持ちください。

情報システムに関する全学問合せ窓口

メール ict-support@o.kaiyodai.ac.jp 内線 0446

附属図書館 (品川) 1 階事務室内 (担当: 全学 ICT サポート)

Important!



Precautions for Preventing Network Failure

Network outages occur frequently on campus.
Check the wiring inside the research office.

Do not connect the cable in a loop (as in the picture.)

Connecting both ends of a cable to network equipment can cause serious obstacles. For example, communication packets without an exit increase within the network, making the entire floor or building unreachable. Remove unused cables from the equipment.



Do not use old hubs or broken LAN cables

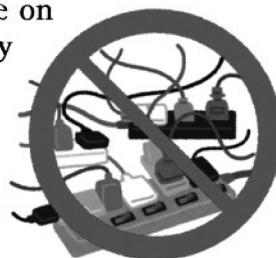
An old plastic hub (HUB, Switch) may cause communication failure of the entire floor due to thermal runaway. Damaged wires and connector damage may also cause communication trouble. Check the years of use and state of damage and replace as necessary.

→ A hub with a metal case is recommended. It is stable, long-lasting, and provides excellent heat dissipation. For a detailed model number, contact the Inquiry Center given at the bottom of this page.

Set up and connect the router in the office correctly.

Misconfiguration of the DHCP function on the broadband router and wireless LAN router individually installed in the offices may lead to communication failure on the floor or the entire building. Check that the network cable is properly connected.

→ If "WAN" and "LAN" are confused, network failure will result! Use of old OA taps, use exceeding the rated current, and use of power strips may cause fire. Beware.



Caution

Optimize your PC with the latest updates



Information leakage due to viruses targeting OS vulnerabilities is reported worldwide. Make sure that the operating system and antivirus software you are using are kept up to date. Even on a private notebook PC, you can install the university-distributed antivirus software. Take advantage of it by all means. Manufacturer support has ended for Windows XP, Vista, 7, 8, 8.1 Mac OS X, and old versions of mac OS. Update to the latest OS promptly if using these OS. The currently available OS are Windows 11, Windows 10, and the latest version of mac OS.

Delete data when discarding a PC, etc.

To prevent information leakage from discarded personal computers, etc., use data destruction and erasure devices for recording media such as hard disks and SSDs. Please bring them to the following counter:

Information System Inquiry Center

Email ict-support@o.kaiyodai.ac.jp Extension 0446

TUMSAT Library (Shinagawa) Office, first floor

学生関係窓口からのお知らせ

両キャンパスの学生関係の窓口対応時間は下記のとおりです。

窓 口	窓口対応時間
《品川キャンパス》 学務部事務室 (講義棟1階) キャリア支援センター (白鷹館1階) 《越中島キャンパス》 越中島地区事務室 (1号館1階)	○授 業 期 間 9:00 ~ 17:15 ○春・夏・冬季休業期間 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
《品川キャンパス》 入 試 課 (本部管理棟1階)	○授 業 期 間 8:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00 ○春・夏・冬季休業期間 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

業務等の都合により、窓口対応時間が変更となることがあります。

悪質な就活商法に関する注意喚起

各大学で、学生に対して就職活動を支援するためのセミナー等を企画し、高額な参加費を徴収する団体による被害が発生しています。

なお、参加費が無料である場合も注意が必要です。そのセミナー等がカルト団体の勧誘窓口となっている場合があります。

本学においても、近年、そのような団体に入会して脱退する時に苦勞した事例や、学内において強引な勧誘行為があったとの相談が寄せられた事例があります。



就活イベントの会場周辺では就活生の不安につけ込み、親しげに声をかけ就活商法の勧誘を行う者がおり、安易に氏名や携帯番号を教えている就活生も多いようです。

セミナー等の就活商法については、安易に個人情報伝えることのないようご注意ください。国民生活センターによると、就活商法の被害相談は、毎年100件を超えているそうです。

「被害に遭った」「意に反して強引に勧誘された」等の場合、遠慮なく〔相談窓口〕へご相談ください。

(品 川) 学生サービス課学生生活係
 (越中島) 越中島地区事務室学生支援係

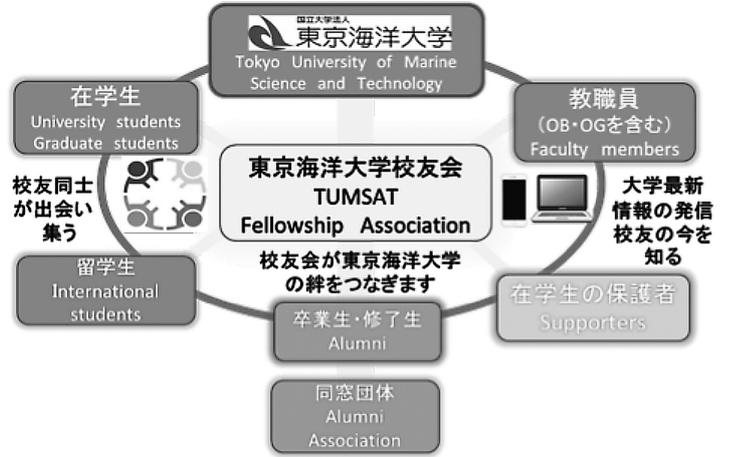
東京海洋大学校友会のご案内

Q1. 「東京海洋大学校友会」とは何ですか？

本学は、2017年4月の新学部設立を機に国内における唯一の海洋系総合大学として体制を強固にしました。今後、社会全体に強くその存在をアピールしていくため、2018年4月、全学的に「校友」同士の交流を活発化させ、本学の発展に寄与することを目的として、「東京海洋大学校友会」を発足しました。

Q2. 「校友」とは誰ですか？

東京海洋大学および東京水産大学、東京商船大学等前身校の卒業生、在學生、在學生・卒業生の保護者、教職員の皆さまです。ホームカミングデーや各種イベントなど、「校友」限定の企画をし、「校友会ホームページ」や「校友会メルマガ」でご案内いたしますので、ぜひご参加ください。



Q3. 「校友会ホームページ」とは何ですか？アカウントはいつ貰えますか？

SNS機能、校友会メルマガ、公認課外活動団体ポータルサイトや会員限定動画サイトなど様々な機能を備えた「校友」限定ホームページです。「校友」の皆さまには個別アカウントを配布しております。**(登録及び会費は無料です。)**



海洋大の「今」が分かるコンテンツや情報を発信していきます。試行的にInstagramも開始しました。実際にアクセスしてみてください。



(校友会ホームページ) QRコード

【アカウント取得方法】

- 在學生の方：大学メールアドレス（～@edu.kaiyodai.ac.jp）宛にID・パスワードを送付済みです。不明な場合は、再送も可能ですので、お気軽に校友会事務局にお問合せください。
- 卒業生・保護者の方：校友会ホームページの「新規登録」ボタンから、ぜひ申請をお願いいたします。（校友会事務局で内容を確認後、ID・パスワードを送付します。）

★★★ご卒業を控えた方へ★★★

【重要】 ご卒業後も引き続き利用いただけるようにするため、卒業前に「連絡用メールアドレス」の変更をお願いいたします。※初期設定の大学メールアドレスは、卒業後に使用できなくなります。（ログイン後の画面「右上⚙️(設定)」>「プロフィール」>「プロフィールを編集」>「連絡用メールアドレス」）

また、本学卒業生を支援する同窓組織として「楽水会」「海洋会」があります。本学卒業生との強固なネットワークを築いておりますので、ぜひご加入ください。
楽水会：http://rakusui.or.jp/
海洋会：http://www.kaiyo-kai.com/

校友会に関する問合せ先：

東京海洋大学校友会事務局
電話番号：03-5463-4014
メールアドレス：koyukai@o.kaiyodai.ac.jp

掲 示 版

SNS、ブログ等の利用に関する注意事項

FacebookやXに代表されるSNS（ソーシャルネットワークサービス）、あるいはブログなどを利用していると思いますが、インターネット上に書き込んだ内容は全世界に公開されることとなります。

転載・拡散された場合等には、長期間ネット上に残り、何らかのきっかけで問題となることがあります。SNSなどインターネットへの書き込み、写真や映像の掲載・投稿には十分注意し、個人情報は書き込まないようにしてください。

何か困ったことがあれば、周りの人に相談するようにして下さい。SNSの公式サイトヘルプや問合せ窓口なども参考にしてください。

闇バイトに注意

SNSに投稿されたアルバイト情報の中には、犯罪の手伝いをさせられるなど、危険なものも潜んでいます。怪しげな情報にだまされないよう注意してください。「#裏バイト」「#高額バイト」等のハッシュタグがいっぱい並ぶ投稿は、誰がどう見ても怪しく、雇用主や仕事内容の記載がなければ無視し、関心を持つのは危険です。好条件をエサに接触を待つ、勧誘目的で友達申請をする等、悪意の仕掛けはさまざまです。友人・知人が発信した情報でも、また聞きや再投稿の可能性があります。安易な連絡は絶対にやめてください。詐欺の受け子等は使い捨て、見つかって逮捕されることや、犯人グループとトラブルになるケースもあります。手っ取り早く稼ぎたい、スリルを味わいたいという気持ちで罪を犯すことのないよう十分注意してください。

薬物の乱用について

薬物の乱用は、本人の精神と身体に危害を及ぼします。また、友人や家族関係の崩壊にもつながるなど、本人だけでなく、社会全体に計り知れない影響をもたらします。このため、薬物の所持や使用は法律で禁止されており、違反者は厳罰に処せられます。

薬物に対して安易な気持ちや一時の興味で接することのないよう十分注意してください。

盗難に注意

下記の事項を守り、自己管理を徹底してください。

- ・貴重品は、できる限り大学には持参しないでください。
- ・やむを得ず所持する場合は、各自でロッカーに鍵をかけて管理してください。
- ・鍵は安易に解錠出来ないもの（ダイヤル式など）を選んでください。

悪質商法等に注意

消費者契約等に関するトラブルが増加しています。うまい話には要注意です。少しでも疑問を感じたら契約しないでください。また、身に覚えのない請求などは支払わないでください。

訪問販売や電話勧誘販売など、特定の取引の場合に、一定期間内ならば理由を問わず解約できるクーリング・オフ制度があります。もしも被害に遭ってしまったときは消費生活センターに相談してください。

カルト団体等の偽装勧誘に注意

キャンパス内において、自らが宗教団体であることを名乗ることなく、サークル活動や自主ゼミと称し、特定の反社会的なカルト団体に引き込まうとする「偽装勧誘」の事例があります。

声を掛けられておかしいと感じた場合はキッパリと断り、安易に電話番号、メールアドレス等を交換しないでください。また、不審な団体と感じたとき、あるいは勧誘活動を受けた場合は、学生生活係、学生支援係まで知らせてください。

飲酒についての注意事項

(1) 20歳未満の飲酒は法律で禁止されています。

アルコールには麻酔作用があるので、20歳未満が飲み方や適量もわからず無理に飲むと、急性アルコール中毒を起こしやすいといわれています。もし、誰かに勧められても、きちんと断ることが大切です。

(2) 飲酒の強要は絶対にしないこと。

20歳未満やお酒に弱い方にお酒を強要することは絶対にしないでください。

(3) 飲酒運転は厳禁です。

「道路交通安全法」では飲酒運転のほか、飲酒者への車両の提供、運転者への酒類の提供、飲酒運転の車への同乗についても禁止されており、厳しい罰則が課せられます。

